

大島町公共施設個別施設計画



令和6年（2024年）3月

東京都大島町

目 次

第1章	個別施設計画策定の背景、目的と位置付け	1
1	策定の背景と目的	1
2	公共施設等総合管理計画と個別施設計画との関係	1
第2章	個別施設計画の対象施設及び計画期間	3
1	対象施設	3
2	計画期間	15
第3章	対象施設を取り巻く現状と課題	16
1	人口動向	16
2	公共施設等の現状と課題	17
第4章	施設の評価及び対策優先順位の考え方	30
1	施設の評価	30
2	対策優先順位の考え方	35
3	方針の種類	37
第5章	施設の評価結果及び今後の方針	38
1	町民文化系施設（集会施設）	38
2	社会教育系施設（博物館等）	41
3	レクリエーション・観光系施設（温泉施設）	43
4	レクリエーション・観光系施設（観光系施設）	46
5	レクリエーション・観光系施設（スポーツ施設）	51
6	産業系施設（産業振興施設）	54
7	産業系施設（倉庫）	59
8	産業系施設（販売施設）	61
9	学校教育系施設（その他の学校教育施設）	63
10	保健・福祉施設（その他施設）	65
11	保健・福祉施設（福祉施設）	67
12	保健・福祉施設（保健施設）	70
13	子育て支援施設（福祉施設）	73
14	子育て支援施設（幼保・こども園）	75
15	行政系施設（消防施設）	77
16	行政系施設（その他の行政系施設）	82
17	行政系施設（庁舎等）	85

18	行政系施設（駐車場）	87
19	供給処理施設（供給処理施設）	89
20	その他施設（公園）	91
21	その他施設（公衆トイレ）	94
22	その他施設（その他施設）	98
23	水道施設（監視施設）	105
24	水道施設（取水施設）	107
25	水道施設（浄水施設）	111
26	水道施設（送水施設）	114
27	水道施設（電気計装施設）	117
28	水道施設（配水施設）	119
第6章	保全計画工程及び更新等費用	121
1	保全計画工程及び更新等費用試算の前提条件	121
2	保全計画工程及び更新等費用の試算結果	125
第7章	今後の対応方針と本計画の実現に向けて	138
1	計画の進捗管理と庁内連携について	138
2	個別施設計画の改訂について	138
3	計画の実現に向けた他計画との整合性について	138

【個別施設計画の記載にあたっての前提】

① 端数処理について

本計画で取り扱う数値は、金額については単位未満で切り捨て、延床面積等については小数点第3位以下を四捨五入する端数処理を基本としているため、表記される合計は一致しない場合があります。

② 調査時点について

本計画に実績値を掲載する場合、数値は、令和5年（2023年）3月31日時点の基本としています。それ以外の情報を利用する場合は、その旨を記載しています。

③ 複合施設の計上について

複合施設の場合は、それぞれの分類毎に施設数を計上しているため、実際の施設数とは一致しません。

第1章 個別施設計画策定の背景、目的と位置付け

1 策定の背景と目的

我が国では、全国的に公共施設等の老朽化対策が大きな課題となっています。このような中、国では、平成25（2013）年に「インフラ長寿命化基本計画」を策定し、平成26（2014）年には各地方公共団体に対して、国と歩調を合わせ、インフラを含む公共施設等の総合的かつ計画的な管理を推進するための計画（公共施設等総合管理計画）の策定を要請しました。その後、個別施設計画の推進を踏まえ、平成30（2018）年に「公共施設等総合管理計画の策定にあたっての指針」が改訂され総合管理計画の充実を図ることが求められています。

本町においても、今後、人口の減少・人口構成の変化が見込まれており、町税収入が減少するなど厳しい財政状況が予測されるとともに、公共サービスへの需要も変化していくことが予想されます。また、これまで整備してきた多くの公共施設等が、今後、老朽化の時期を迎え、多額の更新費用や改修費用が必要となることが見込まれます。このため、長期的な財政状況や公共施設等の利用需要の見通しを踏まえて、公共施設等を計画的に管理し、安全性や必要な機能を確保しつつも、将来に過度な負担を残さない持続可能な公共施設等のあり方を検討することが求められています。

こうした状況を受け、これまでも、「第7次大島町基本構想・前期基本計画」に沿った、公共施設の再編や廃止を検討・実施してきました。また、民間活力の活用を意図した指定管理者制度や業務委託制度の積極的な導入を進めてきました。さらに、組織機構の改革、経費節減等、行政改革の取組に努めてきました。しかしながら、今後も進行することが見込まれる人口減少や少子高齢化の進展、町民ニーズの多様化等による利用状況の変化等、本町の公共施設等を取り巻く環境は予想以上に厳しいものとなっています。

このような現状を踏まえ、本町では保有する公共施設について、長期的な視点をもって更新・統廃合・長寿命化などを計画的に行うために、平成29（2017）年3月に「大島町公共施設等総合管理計画」を策定しました。

さらに、令和3年1月に総務省より「令和3年度までの公共施設等総合管理計画の見直しに当たっての留意事項について」として、令和3年度中に、これまでに行った対策の実績や有形固定資産減価償却率の推移、ユニバーサルデザイン化の方針等、当初計画に不掲載であった内容を盛り込んだ見直しを行うよう示されたことを受けて、令和4年3月に「大島町公共施設等総合管理計画」を改訂しました。

そして、このたび大島町公共施設等総合管理計画で示した基本的な方針を踏まえ、施設を総合的な観点で捉え、施設の質的改善も踏まえた大規模改修や長寿命化を目指し、改修時期等を設定することで計画的に長寿命化を進め、コストの縮減と平準化を図ることを目的に、本町が所有する施設について「大島町個別施設計画」（以下、「本計画」という。）を策定しました。

2 公共施設等総合管理計画と個別施設計画との関係

「総合管理計画」は公共施設等の管理に関する基本方針を示していますが、これだけでは個別の施設についての詳細な対応方法が示されていないため、施設の効率的な長寿命化等について、具体

的な改修方法や更新時期を明確にしていく事が必要となります。

このことから、対象施設や計画期間、対策の優先順位の考え方、個別施設の状態、対策内容と実施時期、対策費用などの事項を記載した個別施設計画である「本計画」を策定し、「総合管理計画」の下位計画として位置付けるものであり、「本計画」に記載する内容は、今後、各施設の質と量の最適化に係る基本方針を示すものとします。

なお、本計画における各施設の施設類型の設定については、令和4年3月改訂の総合管理計画における類型を前提としています。

第2章 個別施設計画の対象施設及び計画期間

1 対象施設

「本計画」における対象施設は次の一覧表に示す施設とします。

図表 2-1 対象施設一覧表

施設類型 (大分類)	施設類型 (中分類)	施設名称	建物名称	建設 年度	経過 年数 (年)	延床 面積 (㎡)
町民文化 系施設	集会施設	岡田コミュニ ティーセンタ ー	岡田コミュニティーセ ンター	1994	28	571.15
町民文化 系施設	集会施設	野増地域 防災コミュニ ティーセンタ ー	野増地域防災コミ ュニティーセンター	2016	6	644.66
町民文化 系施設	集会施設	間伏地域 防災コミュニ ティーセンタ ー	間伏地域防災コミ ュニティーセンター	2016	6	255.59
社会教育 系施設	博物館等	伊豆大島 火山博物 館	伊豆大島火山博 物館	1990	32	1,818.00
レクリエーシ ョン・観光系 施設	温泉施設	大島温泉 元町浜の湯	大島温泉元町浜の 湯	1991	31	48.00
レクリエーシ ョン・観光系 施設	温泉施設		大島温泉元町浜の 湯 受付小屋	1994	28	9.00
レクリエーシ ョン・観光系 施設	温泉施設	小清水ポン プ小屋	小清水ポンプ小屋	1996	26	4.00
レクリエーシ ョン・観光系 施設	温泉施設	愛らんどセン ター御神火 温泉	愛らんどセンター御 神火温泉	1999	23	1998.00

施設類型 (大分類)	施設類型 (中分類)	施設名称	建物名称	建設 年度	経過 年数 (年)	延床 面積 (㎡)
レクリエーシ ョン・観光系 施設	温泉施設	大津ポンプ 小屋	大津ポンプ小屋	1993	29	4.00
レクリエーシ ョン・観光系 施設	観光系施 設	秋の浜	秋の浜公衆便所	1988	34	34.00
レクリエーシ ョン・観光系 施設	観光系施 設		秋の浜ポンプ小屋	1993	29	4.6
レクリエーシ ョン・観光系 施設	観光系施 設	弘法浜	弘法浜公衆便所	2009	13	18.00
レクリエーシ ョン・観光系 施設	観光系施 設		弘法浜更衣室	2016	6	24.96
レクリエーシ ョン・観光系 施設	観光系施 設		弘法浜売店 1	不明	-	36.00
レクリエーシ ョン・観光系 施設	観光系施 設		弘法浜売店 2	不明	-	36.00
レクリエーシ ョン・観光系 施設	観光系施 設	万立 四阿	万立 四阿	1992	30	9.00
レクリエーシ ョン・観光系 施設	観光系施 設	王の浜	王の浜公衆便所	1994	28	11.00
レクリエーシ ョン・観光系 施設	観光系施 設	砂の浜	砂の浜公衆便所	2010	12	20.00
レクリエーシ ョン・観光系 施設	観光系施 設	旧港屋旅 館	旧港屋旅館	不明	-	516.22

施設類型 (大分類)	施設類型 (中分類)	施設名称	建物名称	建設 年度	経過 年数 (年)	延床 面積 (㎡)
レクリエーシ ョン・観光系 施設	観光系施 設		旧港屋旅館 便所	不明	-	12.00
レクリエーシ ョン・観光系 施設	観光系施 設	旧碁の丸邸	旧碁の丸邸	不明	-	344.00
レクリエーシ ョン・観光系 施設	観光系施 設		旧碁の丸邸 倉庫	不明	-	25.00
レクリエーシ ョン・観光系 施設	観光系施 設		旧碁の丸邸 便所	1990	32	14.00
レクリエーシ ョン・観光系 施設	観光系施 設	レストセンタ ー	レストセンター	1993	29	150.00
レクリエーシ ョン・観光系 施設	観光系施 設	大島観光 案内センタ ー	大島観光案内セン ター	2010	12	245.00
レクリエーシ ョン・観光系 施設	観光系施 設	三原山観 光展示棟	三原山観光展示 棟 管理棟	1990	32	36.00
レクリエーシ ョン・観光系 施設	観光系施 設	鉄砲場	鉄砲場公衆トイレ	2013	9	11.28
レクリエーシ ョン・観光系 施設	スポーツ施 設	差木地プー ル	更衣室・ポンプ室	1972	50	21.00
レクリエーシ ョン・観光系 施設	スポーツ施 設	弘法浜サン セットプール	管理棟・更衣室等	2015	7	162.00
産業系施 設	産業振興 施設	新開牧場	新開牧場牛舎・搾 乳棟	1999	23	996.86

施設類型 (大分類)	施設類型 (中分類)	施設名称	建物名称	建設 年度	経過 年数 (年)	延床 面積 (㎡)
産業系施設	産業振興施設		新開牧場育成舎	2000	22	147.23
産業系施設	産業振興施設		新開牧場管理舎	1974	48	38.85
産業系施設	産業振興施設		新開牧場飼料用倉庫	2001	21	49.68
産業系施設	産業振興施設		牧場堆肥舎	1999	23	325.00
産業系施設	産業振興施設	農産物直売所ぶらっとハウス	農産物直売所ぶらっとハウス	2001	21	198.2
産業系施設	産業振興施設	差木地花卉集荷所 1	差木地花卉集荷所 1	1973	49	41.00
産業系施設	産業振興施設	差木地花卉集荷所 2	差木地花卉集荷所 2	2001	21	40.00
産業系施設	産業振興施設	北の山事務所	北の山事務所	1969	53	158.00
産業系施設	産業振興施設	牛乳工場	牛乳工場	1998	24	286.00
産業系施設	産業振興施設	大滝農業用水	波浮港旧井戸建屋	1983	39	3.6
産業系施設	産業振興施設		波浮港配水槽建屋	1983	39	5.6
産業系施設	産業振興施設		クダッチ取水場建屋	1993	29	5.00
産業系施設	産業振興施設	滝川農業用水	サンドフィルター建屋	2007	15	12.8
産業系施設	産業振興施設	沢立農業用水	サンドフィルター建屋	2012	10	20.71
産業系施設	倉庫	差木地倉庫	差木地倉庫	1973	49	175.00

施設類型 (大分類)	施設類型 (中分類)	施設名称	建物名称	建設 年度	経過 年数 (年)	延床 面積 (㎡)
産業系施設	倉庫	北の山店舗及び倉庫	北の山店舗及び倉庫	1985	37	194.00
産業系施設	販売施設	水産物展示販売施設（海市場）	地域産物展示販売施設（海市場）	2003	19	281.00
学校教育系施設	その他の学校教育施設	大島町立学校給食センター	大島町立学校給食センター	1993	29	925.25
保健・福祉施設	その他施設	黒潮作業所	住宅 1	1999	23	92.00
保健・福祉施設	その他施設		住宅 2	1999	23	61.00
保健・福祉施設	福祉施設	大島町勤労福祉会館	大島町勤労福祉会館 A 棟	1972	50	457.14
保健・福祉施設	福祉施設		大島町勤労福祉会館 B 棟	1972	50	1201.6
保健・福祉施設	福祉施設		大島町勤労福祉会館 C 棟	1972	50	15.49
保健・福祉施設	福祉施設		大島町勤労福祉会館 自家発電小屋	1972	50	19.93
保健・福祉施設	福祉施設	クダッチ老人福祉館	クダッチ老人福祉館	1978	44	401.69
保健・福祉施設	福祉施設	波浮港老人福祉館	波浮港老人福祉館	1973	49	416.5
保健・福祉施設	保健施設	大島医療センター	大島医療センター	2003	19	3457.6
保健・福祉施設	保健施設	大島けんこうセンター	大島けんこうセンター	1980	42	900.72

施設類型 (大分類)	施設類型 (中分類)	施設名称	建物名称	建設 年度	経過 年数 (年)	延床 面積 (㎡)
保健・福祉 施設	保健施設	南部診療 所	南部診療所	1985	37	754.2
保健・福祉 施設	保健施設	南部診療 所	南部診療所車庫	1985	37	23.00
子育て支 援施設	福祉施設	みんなの福 祉センター	差木地保育園園 舎	1970	52	271.49
子育て支 援施設	福祉施設		差木地保育園園 舎増築 1	1977	45	208.65
子育て支 援施設	福祉施設		差木地保育園園 舎増築 2	2003	19	41.82
子育て支 援施設	幼保・こども 園	元町保育 園	元町保育園園舎	2022	0	1366.1
子育て支 援施設	幼保・こども 園	岡田保育 園	岡田保育園園舎	1990	32	253.5
子育て支 援施設	幼保・こども 園		岡田保育園保育 室等増築	2005	17	124.68
行政系施 設	消防施設	消防本部 庁舎	消防本部庁舎	2003	19	848.46
行政系施 設	消防施設	大島町消 防団団本 部	大島町消防団団 本部	2018	4	320.00
行政系施 設	消防施設	泉津分団	分団詰所（泉津 分団）	2007	15	124.01
行政系施 設	消防施設	岡田分団	分団詰所（岡田 分団）	1987	35	65.69
行政系施 設	消防施設	北の山分団	分団詰所（北の山 分団）	2013	9	126.66
行政系施 設	消防施設	元町分団	分団詰所（元町 分団）	1993	29	200.3
行政系施 設	消防施設	野増分団	分団詰所（野増 分団）	2004	18	131.66

施設類型 (大分類)	施設類型 (中分類)	施設名称	建物名称	建設 年度	経過 年数 (年)	延床 面積 (㎡)
行政系施設	消防施設	野増分団 3 部	分団詰所（野増 分団 3 部））	1995	27	60.00
行政系施設	消防施設	差木地分 団	分団詰所（差木 地分団）	1990	32	66.00
行政系施設	消防施設	クダッチ分団	分団詰所（クダッチ 分団）	1997	25	81.85
行政系施設	消防施設	波浮港分 団	分団詰所（波浮 港分団）	2009	13	124.95
行政系施設	消防施設	岡田分団	器具置場（岡田 分団）	1974	48	32.00
行政系施設	消防施設	北の山分団	器具置場（北の山 分団）	1987	35	41.5
行政系施設	消防施設	差木地分 団	器具置場（差木 地分団）	1973	49	39.00
行政系施設	消防施設		器具置場（差木 地分団）	1967	49	39.00
行政系施設	消防施設	旧分団詰 所（波浮 港分団）	旧分団詰所（波 浮港分団）	1999	23	28.98
行政系施設	その他の行政系施設	泉津地区 防災炊事 舎	泉津地区防災炊 事舎	2014	8	9.00
行政系施設	その他の行政系施設	備蓄庫	岡田備蓄庫	1987	35	150.00
行政系施設	その他の行政系施設		泉津備蓄庫	1987	35	150.00
行政系施設	その他の行政系施設		差木地備蓄庫	1987	35	150.00

施設類型 (大分類)	施設類型 (中分類)	施設名称	建物名称	建設 年度	経過 年数 (年)	延床 面積 (㎡)
行政系施設	庁舎等	大島町役場・開発総合センター	大島町役場・開発総合センター	1983	39	5,776.61
行政系施設	駐車場	公共駐車場・多目的広場	駐車場	2010	12	347.95
供給処理施設	供給処理施設	大島町資源ストックヤード	大島町資源ストックヤード	2018	4	114.92
その他施設	公園	差木地みんなの広場	差木地みんなの広場公衆便所	1998	24	10.8
その他施設	公園	吉谷公園	吉谷公園公衆便所	1992	30	40.79
その他施設	公園	大島町メモリアル公園	管理棟	2021	1	156.00
その他施設	公園		ステージ	2021	1	73.39
その他施設	公園		公衆便所	2021	1	34.59
その他施設	公園	椿公園	椿公園 体験棟	1994	28	242.00
その他施設	公園		椿公園 便所棟	1994	28	35.00
その他施設	公衆トイレ	岡田福聚寺横公衆便所	岡田福聚寺横公衆便所	1995	27	25.00
その他施設	公衆トイレ	元町墓地横公衆便所	元町墓地横公衆便所	2013	9	15.00
その他施設	公衆トイレ	北の山公衆便所	北の山公衆便所	1997	25	26.00
その他施設	公衆トイレ	北の山墓地公衆便所	北の山墓地公衆便所	1999	23	7.00
その他施設	公衆トイレ	万立浜公衆便所	万立浜公衆便所	1991	31	14.00

施設類型 (大分類)	施設類型 (中分類)	施設名称	建物名称	建設 年度	経過 年数 (年)	延床 面積 (㎡)
その他施設	公衆トイレ	波浮港西 岸公衆便 所	波浮港西岸公衆 便所	1987	35	10.00
その他施設	公衆トイレ	差木地フナ ワ公衆便所	差木地フナワ公衆 便所	1997	25	29.00
その他施設	公衆トイレ	波浮港中 央公衆便 所	波浮港中央公衆 便所	1996	26	19.00
その他施設	公衆トイレ	波浮港墓 地公衆便 所	波浮港墓地公衆 便所	2008	14	9.00
その他施設	公衆トイレ	波浮港見 晴台公衆 便所	波浮港見晴台公 衆便所	1991	31	24.00
その他施設	公衆トイレ	差木地墓 地公衆便 所	差木地墓地公衆 便所	2017	5	9.00
その他施設	その他施設	医師住宅	医師住宅	2010	12	299.7
その他施設	その他施設	火葬場	火葬場	2001	21	240.61
その他施設	その他施設		火葬場家族控室	2001	21	80.73
その他施設	その他施設		火葬場待合室	2002	20	240.97
その他施設	その他施設	旧込内文 化会館	旧込内文化会館	1972	50	116.00
その他施設	その他施設	旧子供家 庭支援セン ター	旧子供家庭支援セ ンター	1972	50	208.00
その他施設	その他施設	退避壕(温 泉ホテル)	退避壕(温泉ホテ ル)	1987	35	60.00
その他施設	その他施設	退避壕(筆 島)	退避壕(筆島)	1987	35	60.00

施設類型 (大分類)	施設類型 (中分類)	施設名称	建物名称	建設 年度	経過 年数 (年)	延床 面積 (㎡)
その他施設	その他施設	退避壕(都 道 裏砂漠 入口)	退避壕(都道 裏 砂漠入口)	1987	35	15.00
その他施設	その他施設	退避壕(三 原山遊歩 道)	退避壕(三原山遊 歩道)	1987	35	10.00
その他施設	その他施設		退避壕(三原山遊 歩道)	1987	35	10.00
その他施設	その他施設		退避壕(三原山遊 歩道)	1987	35	10.00
その他施設	その他施設		退避壕(三原山遊 歩道)	1987	35	10.00
その他施設	その他施設		退避壕(三原山遊 歩道)	1987	35	10.00
その他施設	その他施設		退避壕(三原山遊 歩道)	1987	35	10.00
その他施設	その他施設		退避壕(三原山遊 歩道)	1987	35	10.00
その他施設	その他施設	退避壕(差 木地地区)	退避壕(差木地地 区)	1987	35	10.00
その他施設	その他施設		退避壕(差木地地 区)	1987	35	10.00
その他施設	その他施設		退避壕(差木地地 区)	1987	35	10.00
その他施設	その他施設	退避壕 (1986 年 割れ目噴 火口)	退避壕(1986 年 割れ目噴火口)	1987	35	10.00
その他施設	その他施設	退避壕(陸 上競技場)	退避壕(陸上競技 場)	1987	35	10.00
その他施設	その他施設	旧泉津診 療所	旧泉津診療所	不明	-	122.00
その他施設	その他施設	旧差木地 村役場	旧差木地村役場	不明	-	113.00
水道施設	監視施設	元町中央 監視室	元町遠方監視所	2016	6	99.00

施設類型 (大分類)	施設類型 (中分類)	施設名称	建物名称	建設 年度	経過 年数 (年)	延床 面積 (㎡)
水道施設	取水施設	岡田 9 号 井	岡田 9 号井ポンプ 室	不明	-	7.00
水道施設	取水施設	岡田 7 号 井	岡田第 7 号井ポン プ室	2001	21	9.00
水道施設	取水施設	岡田 7 号 井自家発 電室	岡田第 7 号自家発 電室	1983	39	20.00
水道施設	取水施設	岡田 10 号 井	岡田 10 号井ポン プ室	2021	1	6.00
水道施設	取水施設	岡田 8 号 井	岡田第 8 号井ポン プ室	2002	20	9.00
水道施設	取水施設	岡田 6 号 井	岡田第 6 号井ポン プ室	2021	1	9.00
水道施設	取水施設	北の山 1 号井	北の山 1 号井ポン プ室	1992	30	4.00
水道施設	取水施設	北の山 2 号井	仲中 2 号井ポンプ室	1987	35	3.173
水道施設	取水施設	筆島水源	筆島水源発電室	不明	-	37.00
水道施設	取水施設	大滝第 2 水源	大滝第 2 号井ポン プ室	1992	30	6.00
水道施設	浄水施設	岡田集合 井	岡田集合井電気 計装室	2004	18	14.00
水道施設	浄水施設	北の山浄水 場	北の山浄水場	1990	32	520.00
水道施設	浄水施設	南部浄水 場	南部浄水場	2018	4	398.00
水道施設	浄水施設	泉津浄水 場	泉津配水池自家 発電機室	2021	1	16.00
水道施設	送水施設	高々区増 圧ポンプ場	高々区増圧ポンプ 室	1998	24	16.00
水道施設	送水施設	間伏増圧ポ ンプ場	間伏増圧ポンプ室	1985	37	15.00

施設類型 (大分類)	施設類型 (中分類)	施設名称	建物名称	建設 年度	経過 年数 (年)	延床 面積 (㎡)
水道施設	送水施設	間伏増圧ポンプ場	間伏電気計装室	1985	37	6.00
水道施設	送水施設	野増調整池	野増調整池	1981	41	5.00
水道施設	電気計装施設	仲中電気室	仲中電気計装室	1990	32	7.00
水道施設	配水施設	家の上第1配水池	元町浄水場	1969	53	165.00
水道施設	配水施設	家の上第3配水池	元町浄水場	1976	46	59.00
水道施設	配水施設	波浮港配水池	電気計装室	1954	68	10.00

2 計画期間

「本計画」の計画期間は、公共施設等総合管理計画の計画期間と合わせるものとし、令和 4 年度から令和 33 年度までの 30 年間とします。

ただし、社会経済情勢の大きな変化や国、都等の関連計画の策定や変更など、本計画を見直す必要が生じた場合には、適宜見直しを行うこととします。

なお、更新費用等の算定期間については、上位計画である総合管理計画で記載を求められている今後 30 年間を対象とし、直近 5 年間（令和 6 年度～令和 10 年度）については、予定される工事等の内容を反映しています。

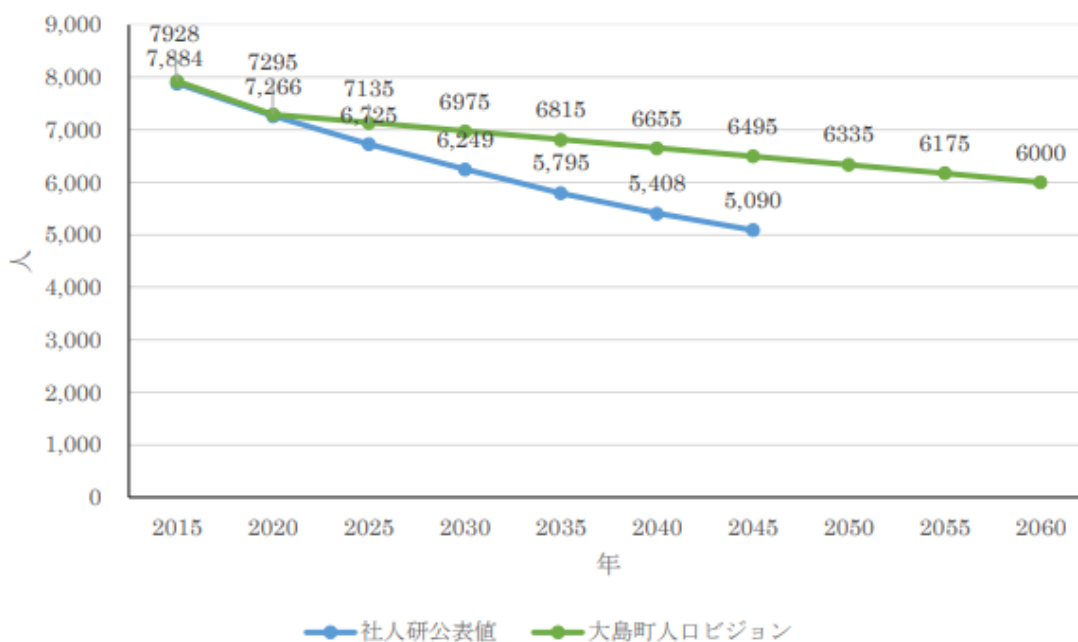
第3章 対象施設を取り巻く現状と課題

1 人口動向

本町の人口は、「第二期大島町まち・ひと・しごと創生総合戦略大島町人口ビジョン」から、1995年の9,693人が2020年には7,102人と、25年間で2,591人（26.7%）減少しています。

また、将来展望による人口についても、2025年に7,000人を割り、2045年の人口は5,090人（2020年比72%）になることが予想されています。2020年人口に対する2045年推計人口の比率を年齢3区分別に見ると、年少人口は82%、生産年齢人口は72%、老年人口が68%となっており、総人口と比例して全体的に年々徐々に減少していくことが予想されます。

図表 3-1 将来人口推計



【出典：第二期大島町まち・ひと・しごと創生総合戦略大島町人口ビジョン、11 頁】

2 公共施設等の現状と課題

1. 町民文化系施設

① 集会施設

○ 岡田コミュニティーセンター

- ・地域団体が定期的に利用しているほか、選挙や避難所として継続使用されています。
- ・建築から 20 年以上経過しており、建物の老朽化が進んでおり、今後改修や更新が必要です。

○ 野増地域防災コミュニティーセンター

- ・使用頻度は少ないですが、災害時には避難所としての役割を果たします。
- ・2016 年に完成した施設であり、経年劣化もなく、現状の課題はありません。

○ 間伏地域防災コミュニティーセンター

- ・使用頻度は少ないですが、災害時には避難所としての役割を果たします。
- ・2016 年に完成した施設であり、経年劣化もなく、現状の課題はありません。

2. 社会教育系施設

① 博物館等

○ 伊豆大島火山博物館

- ・建築から 30 年以上経過しており、建物の老朽化が進んでいます。
- ・かつては 2 万人規模の入館者がありましたが、展示内容が老朽化していることもあり、以前に比べると入館者が減少している状況です。
- ・令和 7 年度に施設リニューアルを計画しており、地域交流施設及び観光施設としての特色を強めることで、島外からの来訪者への需要が高まると想定されます。

3. レクリエーション・観光系施設

① 温泉施設

○ 大島温泉元町浜の湯

- ・島内唯一の公共温泉施設です。
- ・入館者は年間 3 万人程度で推移しており、観光客や町民に広く親しまれる施設となっています。
- ・建築から 30 年以上経過しており、施設の老朽化が進んでいます。
- ・愛らんどセンター御神火温泉との統合を検討していきます。

○ 小清水ポンプ小屋

- ・温泉施設に付属する施設です。
- ・建築から 20 年以上経過しており、建物の老朽化が進んでいます。

○ 愛らんどセンター御神火温泉

- ・大島温泉元町浜の湯と隣接した伊豆大島観光の主要施設となっており、年間の入館者数は 13 万人から 14 万人と本町で最も多くの人に利用されている施設です。

- ・ 建築から 20 年以上経過しており、建物の老朽化が進んでいます。また、海に面しており塩害で劣化が進んでいるため、設備等を含めた全面改修を検討しています。

- ・ 大島温泉元町浜の湯との統合を検討していきます。

○大津ポンプ小屋

- ・ 温泉施設に付属する施設です。
- ・ 建築から約 30 年経過しており、建物の老朽化が進んでいます。

②観光系施設

○秋の浜

- ・ ダイビングスポットとして親しまれていますが、一部崖崩れの危険性が高く立ち入り禁止区域となっております。
- ・ 公衆便所は、建築から約 30 年経過しており、建物の老朽化が進んでいます。今後改修や更新が必要です。

○弘法浜

- ・ 遊泳場に指定されており、通年利用されています。
- ・ 公衆便所や更衣室は、2009 年および 2016 年に完成したもので、経年劣化もなく、現状課題はありません。

○万立 四阿

- ・ 建築から 30 年以上経過しており、建物の老朽化が進んでいます。今後解体撤去を含めた検討が必要です。

○王の浜

- ・ 夏季は海水浴場として利用されています。
- ・ 公衆便所は、建築から約 30 年経過しており、建物の老朽化が進んでいます。今後改修や更新が必要です。

○砂の浜

- ・ 夏季は海水浴場として利用されています。
- ・ 公衆便所は、2010 年に完成したもので、経年劣化もなく、現状課題はありません。

○旧港屋旅館

- ・ 利用者は減少しているものの、文化財的施設として親しまれています。
- ・ 過去に数度台風被害補修工事として、瓦屋根の一部葺き替えを行っていますが、強風等により、飛ばされ民家への被害が出てしまっています。
- ・ 老朽化による倒壊の危険性や、今後の維持管理コストを考慮して存続させるか検討が必要です。

○旧甚の丸邸

- ・ 利用者は減少しているものの、文化財的施設として親しまれています。

- ・老朽化による倒壊の危険性や、今後の維持管理コストを考慮して存続させるか検討が必要です。

○レストセンター

- ・登山者等の休憩およびトイレ使用で利用されています。
- ・空調等設備修繕を実施していますが、建築から 30 年以上経過しており、建物の老朽化が進んでいます。今後改修や更新が必要です。

○大島観光案内センター

- ・2010 年完成の施設であるものの、海沿いに位置しているため、潮風の影響で設備の劣化が進んでいます。今後改修や更新が必要です。

○三原山観光展示棟

- ・建築から 30 年以上経過しており、建物の老朽化が進んでいます。今後解体撤去を検討しています。

○鉄砲場

- ・伊豆大島の観光名所の一つとなっています。
- ・2013 年完成の施設であるため、経年劣化もなく、現状課題はありません。

③スポーツ系施設

○差木地プール

- ・建築から 50 年以上経過しており、施設の老朽化が進んでいます。
- ・近年観光客の利用が減少しているため、機能廃止を計画しています。

○弘法浜サンセットプール

- ・年間 9,000 人から 10,000 人と観光客、町民に広く利用されています。今後、長期に活用するため有料化の検討と予防保全及び事後保全を組み合わせた適切な維持管理を行っていきます。

4. 産業系施設

① 産業振興施設

○ 新開牧場

- ・乳用牛約 30 頭を飼育しており、牛舎・搾乳棟、育成舎、堆肥舎などの施設があります。町が施設を保有し、管理・運営は酪農ヘルパーが、牛乳の加工・販売は株式会社大島牛乳が行っています。
- ・施設は建築から 20 年以上経過しているため老朽化が進んでいます。
- ・給食用やお土産用として牛乳を利用しています。長期に活用できるよう適切な維持管理を行っていきます。

○ 農産物直売所ぶらっとハウス

- ・平成 13（2001）年度に整備された施設で、空港拡張工事に関連し、島内の農産物や牛乳・乳製品を販売する農産物直売所として、新開牧場の一面に作られました。管理・運営は一般社団法人ぶらっとハウスが行っています。

- ・伊豆大島の農産物の紹介や地産地消の拠点となっており、今後も長期に活用できるよう適切な維持管理を行っていきます。

○ 差木地花卉集荷所 1

- ・建築から 50 年近く経過しており、建物の老朽化が進んでいますが、農産物の流通経路として一定数の利用があることから建替えは行わず、適切な補修を実施しながら現状維持に努めます。

○ 差木地花卉集荷所 2

- ・建築から 20 年以上経過しており、建物の老朽化が進んでいますが、農産物の流通経路として一定数の利用があることから建替えは行わず、適切な補修を実施しながら現状維持に努めます。

○ 北の山事務所

- ・建築から 50 年以上経過しており、建物の老朽化が進んでいます。
- ・現状の運営にあたり施設が完備されているため適切な補修を実施しながら現状維持に努めます。

○ 牛乳工場

- ・建築から 20 年以上経過しており、建物の老朽化が進んでいます。
- ・給食用やお土産用として牛乳を利用しています。長期に活用できるよう適切な維持管理を行っていきます。

○ 大滝農業用水

- ・大滝農業用水に係る井戸建屋等について、取得年は不明ですが、地区への配水に必要な施設であることから適切な補修を実施しながら現状維持に努めます。

○ 滝川農業用水

- ・滝川農業用水に係るサンドフィルター建屋について、取得年は不明ですが、地区への配水に必要な施設であることから適切な補修を実施しながら現状維持に努めます。

○ 沢立農業用水

滝川農業用水に係るサンドフィルター建屋について、取得年は不明ですが、地区への配水に必要な施設であることから適切な補修を実施しながら現状維持に努めます。

② 倉庫

○ 差木地倉庫

- ・建築から 50 年近く経過しており、建物の老朽化が進んでいます。
- ・農産物出荷に係る地域の倉庫として必要な施設であることから適切な補修を実施しながら現状維持に努めます。

○ 北の山店舗及び倉庫

- ・建築から 40 年近く経過しており、建物の老朽化が進んでいます。

- ・現状の運営にあたり施設が完備されているため適切な補修を実施しながら現状維持に努めます。

③ 販売施設

○ 水産物展示販売施設（海市場）

- ・伊豆大島で獲れる新鮮な魚介類や特産の干物などを販売する施設であり、観光及び水産業の振興を目的として整備されたものです。元町港にも近いことから、観光客に多く利用され、島のPRに役立っています。
- ・海に近い位置に施設があるため、塩害による施設管理維持の継続が課題となっておりますが、伊豆大島の水産物の紹介や地産地消の拠点となっており、今後も長期に活用できるよう適切な維持管理を行っていきます。

5. 学校教育系施設

① その他の学校教育施設

○ 大島町立学校給食センター

- ・建築から30年近く経過しており、建物の老朽化が進んでいます。
- ・小・中学校の給食を調理し、安心安全な給食を提供する施設のため、少子化にあわせた設備更新や保守点検を実施し、適切な修繕を実施していきます。

6. 保健・福祉施設

① その他施設

○ 黒潮作業所

- ・精神障害者の自活生活支援を目的として設置された施設で、就労に必要な能力を高めるための職業訓練等を行っています。
- ・黒潮作業所に係る住宅は、建築から20年以上経過しており、建物の老朽化が進んでいます。今後も長期間の利用が出来るように定期的な点検と計画的保全による施設の長寿命化を図ります。

② 福祉施設

○ 大島町勤労福祉会館

- ・スポーツにより心身の健康を促進することで、勤労者の福祉向上を図る目的を持って設置されました。会館内には、ボーリング場、卓球場、テニスコートがあり、また集会施設としても利用できることから、多くの町民に利用されています。
- ・建築から50年以上経過しており、建物の老朽化が進んでいます。今後も長期間の利用が出来るように定期的な点検と計画的保全による施設の長寿命化を図ります。

○ グダッチ老人福祉館

- ・建築から40年以上経過しており、建物の老朽化が進んでいます。災害発生時の避難所にも指定されていることから、今後も長期間の利用が出来るように定期的な点検と計画的保全による施設の長寿命化を図ります。

○ 波浮港老人福祉館

- ・ 建築から 50 年近く経過しており、建物の老朽化が進んでいます。災害発生時の避難所にも指定されていることから、今後も長期間の利用が出来るように定期的な点検と計画的保全による施設の長寿命化を図ります。

③ 保健施設

○ 大島医療センター

- ・ 公設民営（指定管理者制度導入）の病院であり、施設、医療機器を町が整備し、運営は医療法人社団 藤清会が行っています。
- ・ 年間約 8 万人、1 日平均 200 人が利用しており、外来患者数は近年減少傾向にあり、入院患者数も減少しており、病床利用率は約 62%と全国平均に比べ低くなっています。
- ・ 施設は島であるがゆえに塩害による腐食が激しい状況にありますが、地域医療の確保は住民に対する重要な責務であると認識し、藤清会と連携し、策定済みの改修計画に沿って施設の長寿命化を図るとともに安全・安心な施設運営を実現します。

○ 大島けんこうセンター

- ・ 常駐する職員は不在ですが、健康診断、育児相談等の実施時に利用されています。
- ・ 建築から 40 年以上経過しており、建物の老朽化が進んでいます。
- ・ 災害（噴火、地震、津波等）発生時には避難所に指定されていますが、他にも施設の有効な活用方法を検討していきます

○ 南部診療所

- ・ 外来患者数は平成 24（2012）年度 1,750 人でしたが、令和 3（2021）年度は 387 人と人口減少に伴い大きく減少しており、現在は慢性疾患の患者を対象として隔週 1 日、午前中のみの診察となっています。

また、指定管理者の登記上の住所となっています。

- ・ 建築から 40 年近く経過しており、建物の老朽化が進んでいます。今後も長期間の利用が出来るように定期的な点検と計画的保全による施設の長寿命化を図ります。

○ 南部診療所車庫

- ・ 建築から 40 年近く経過しており、建物の老朽化が進んでいます。現在の使用用途がないため、今後解体撤去を検討しています。

7. 子育て支援施設

① 福祉施設

○ みんなの福祉センター

- ・ 差木地保育園については就園児童が少ないことから、令和元（2019）年 3 月を以て閉園しましたが、同年 6 月より子育て世代の親子や高齢者等の交流の場を創設

する目的に、「みんなの福祉センター」として開設しています。

- ・ 建築から 50 年以上経過している施設であり、老朽化が見られるため、将来的に機能廃止を検討していきます。

② 幼保・こども園

○ 元町保育園

- ・ 旧元町保育園は、1970 年代に建設され老朽化していましたが、新たに、元町字丸塚 547 番 1 に建設され、令和 4（2022）年 5 月に移転しました。
- ・ 入所申込数も増加しており、現状課題はありません。

○ 岡田保育園

- ・ 建築から 30 年以上経過している施設もあり、老朽化が見られます。今後の維持管理や廃止等のあり方について検討します。

8. 行政系施設

① 消防施設

○ 消防本部庁舎

- ・ 建築から 20 年近く経過しており、老朽化している箇所が見られます。町民の高齢化にともない救急等の出動件数の増加が予想されるため、施設の定期検査等のメンテナンスを実施していく必要があります。

○ 大島町消防団本部

- ・ 建築が平成 30 年度と比較的新しい施設であるため、建物の老朽化は見られません。

○ 泉津分団

- ・ 建築が平成 19 年度と比較的新しい施設であるため、建物の老朽化は見られません。

○ 岡田分団

- ・ 建築から 30 年以上経過しており、老朽化が見られます。また、ハザードマップ対象地域であるため、移転を計画しています。

○ 北の山分団

- ・ 建築が平成 25 年度と比較的新しい施設であるため、建物の老朽化は見られません。

○ 元町分団

- ・ 建築から 30 年近く経過していますが、建物の老朽化に伴う支障は見られません。

○ 野増分団

- ・ 建築から 20 年近く経過していますが、建物の老朽化に伴う支障は見られません。

○ 野増分団 3 部

- ・ 建築から 30 年近く経過していますが、建物の老朽化に伴う支障は見られません。

- 差木地分団

- ・ 建築から 30 年以上経過しており、建物の老朽化が進んでいます。地区の防災機能施設であるため建替えや修繕が検討されています。

- クダッチ分団

- ・ 建築から 20 年以上経過していますが、建物の老朽化に伴う支障は見られません。

- 波浮港分団

- ・ 建築が平成 21 年度と比較的新しい施設であるため、建物の老朽化は見られません。

- 旧分団詰所（波浮港分団）

- ・ 現在使用されておらず、廃止が検討されています。

② その他の行政系施設

- 泉津地区防災炊事舎

- ・ 建築が平成 26 年と比較的新しい施設であるため、建物の老朽化は見られませんが、人口減少等による利用者の減少が見込まれます。今後の維持管理や活用方法について検討します。

- 備蓄庫

- ・ 岡田備蓄庫、泉津備蓄庫及び差木地備蓄庫は、建築から 30 年以上経過しており、建物の老朽化が見られます。今後も長年に活用できるよう適切な維持管理を行っていきます。

③ 庁舎等

- 大島町役場・開発総合センター

- ・ 竣工から 40 年近くが経過しており、設備等の耐用年数も過剰に経過しており、不具合が発生しています。
- ・ 災害発生時には対策本部及び避難所を設置するなど防災上で重要な施設であり、今後も長期間の利用が出来るように定期的な点検と計画的保全による施設の長寿命化を図っていく必要があります。また、建物の耐用年数を超過した場合は、更新（建替え）も視野に検討していきます。

④ 駐車場

- 公共駐車場・多目的広場

- ・ 駐車場は平成 22 年度に整備された比較的新しい施設であるため、施設の老朽化は見られません。
- ・ 太陽光パネルは平成 23 年度に設置された比較的新しい施設であるため、老朽化は見られません。

9. 供給処理施設

① 供給処理施設

○ 大島町資源ストックヤード

- ・ 建築が平成 30 年度と比較的新しい施設であるため、建物の老朽化は見られません。

10. その他施設

① 公園

○ 差木地みんなの広場

- ・ 遊具を設置する予定で、今後利用者が増加すると見込まれます。

○ 吉谷公園

- ・ 市街地にある公園で一定の需要があります。

○ 大島町メモリアル公園

- ・ 管理棟、ステージ及び公衆便所は、建築が令和 3 年度と比較的新しい施設であるため、建物の老朽化は見られません。

○ 椿公園

- ・ 体験棟及び便所棟は、建築から 30 年近く経過しており、建物の老朽化が進んでいますが、適宜補修工事を実施しており、大きな支障は見られません。

② 公衆トイレ

○ 岡田福聚寺横公衆便所

- ・ 一定の需要はありますが、設備等の供給の不足は見られません。

○ 元町墓地横公衆便所

- ・ 一定の需要はありますが、設備等の供給の不足は見られません。

○ 北の山公衆便所

- ・ 一定の需要はありますが、設備等の供給の不足は見られません。

○ 北の山墓地公衆便所

- ・ 一定の需要はありますが、設備等の供給の不足は見られません。

○ 万立浜公衆便所

- ・ 一定の需要はありますが、設備等の供給の不足は見られません。
- ・ 海の近くに位置しているため塩害によって老朽化が見られます。

○ 波浮港西岸公衆便所

- ・ 一定の需要はありますが、設備等の供給の不足は見られません。
- ・ 海の近くに位置しているため塩害によって老朽化が見られます。

○ 差木地フナワ公衆便所

- ・ 一定の需要はありますが、設備等の供給の不足は見られません。

○ 波浮港中央公衆便所

- ・ 一定の需要はありますが、設備等の供給の不足は見られません。

- 波浮港墓地公衆便所
 - ・ 一定の需要はありますが、設備等の供給の不足は見られません。
- 波浮港見晴台公衆便所
 - ・ 一定の需要はありますが、設備等の供給の不足は見られません。
- 差木地墓地公衆便所
 - ・ 一定の需要はありますが、設備等の供給の不足は見られません。
- ③ その他施設
 - 医師住宅
 - ・ 建築が平成 22 年度と比較的新しい施設であるため、居住にあたって大きな支障は見られません。
 - 火葬場
 - ・ 建築から 20 年以上経過しており、一部で雨漏りが見られます。島内唯一の火葬場であるため、今後も長期間の利用が出来るように定期的な点検と計画的保全による施設の長寿命化を図ります。
 - 旧込内文化会館
 - ・ 建築から 50 年以上経過しており、著しい老朽化が見られます。コミュニティー施設として活用されていることから、今後も長期間の利用が出来るように定期的な点検と計画的保全による施設の長寿命化を図ります。
 - 旧子供家庭支援センター
 - ・ 建築から 50 年以上経過しており、著しい老朽化が見られます。コミュニティー施設として活用されていることから、今後も長期間の利用が出来るように定期的な点検と計画的保全による施設の長寿命化を図ります。
 - 退避壕(温泉ホテル)
 - ・ 建築から 30 年以上経過し、建物の老朽化が進んでいますが、火口に近いため有事の際に必要であることから、今後も長期間の利用が出来るように定期的な点検が必要です。
 - 退避壕(筆島)
 - ・ 建築から 30 年以上経過し、建物の老朽化が進んでいます。火口から遠く、配置の必要性について今後検討する必要があります。
 - 退避壕(都道 裏砂漠入口)
 - ・ 建築から 30 年以上経過し、建物の老朽化が進んでいますが、火口に近いため有事の際に必要であることから、今後も長期間の利用が出来るように定期的な点検が必要です。
 - 退避壕(三原山遊歩道)
 - ・ 建築から 30 年以上経過し、建物の老朽化が進んでいますが、火口に近いため有事の際に必要であることから、今後も長期間の利用が出来るように定期的な点検が

必要です。

○ 退避壕(差木地地区)

- ・ 建築から 30 年以上経過し、建物の老朽化が進んでいます。有事の際の需要も見込まれないことから、配置の必要性について今後検討する必要があります。

○ 退避壕(1986 年割れ目噴火口)

- ・ 建築から 30 年以上経過し、建物の老朽化が進んでいます。現地への道路が通行止めとなっており、配置の必要性について今後検討する必要があります。

○ 退避壕(陸上競技場)

- ・ 建築から 30 年以上経過し、建物の老朽化が進んでいます。火口から遠く、配置の必要性について今後検討する必要があります。

○ 旧泉津診療所

- ・ 建築からの経過年数は不明で、今後の維持管理及び活用方法について検討する必要があります。

○ 旧差木地村役場

- ・ 建築からの経過年数は不明で、建物の老朽化が進んでいます。老人会の利用があることや、文化的価値を考慮して、今後も長期間の利用が出来るように定期的な点検が必要です。

1 1. 水道施設

① 監視施設

○ 元町中央監視室

- ・ 建築が平成 28 年度と比較的新しい施設であるため、建物の老朽化は見られません。

② 取水施設

○ 岡田 9 号井

- ・ 建築からの経過年数は不明ですが、建物の老朽化による支障はありません。
- ・ 処理量の不足は見られません。

○ 岡田 7 号井

- ・ 建築から 20 年以上経過しているものの、建物の老朽化による支障はありません。
- ・ 処理量の不足は見られません。

○ 岡田 7 号井自家発電室

- ・ 建築から 40 年近く経過しているものの、建物の老朽化による支障はありません。
- ・ 処理量の不足は見られません。

○ 岡田 10 号井

- ・ 建築が令和 3 年度と比較的新しい施設であるため、特段建物の老朽化は進んでい

ません。

- ・処理量の不足は見られません。

○ 岡田 8 号井

- ・建築から 20 年以上経過しているものの、建物の老朽化による支障はありません。
- ・処理量の不足は見られません。

○ 岡田 6 号井

- ・建築が令和 3 年度と比較的新しい施設であるため、特段建物の老朽化は進んでいません。
- ・処理量の不足は見られません。

○ 北の山 1 号井

- ・建築から 30 年以上経過しているものの、建物の老朽化による支障はありません。
- ・処理量の不足は見られません。

○ 北の山 2 号井

- ・建築から 30 年以上経過しているものの、建物の老朽化による支障はありません。
- ・処理量の不足は見られません。

○ 筆島水源

- ・施設が損壊しているため現在使用できません。

○ 大滝第 2 水源

- ・建築から 30 年以上経過しているものの、建物の老朽化による支障はありません。
- ・処理量の不足は見られません。

③ 浄水施設

○ 岡田集合并

- ・建築から 20 年近く経過しているものの、特段建物の老朽化は進んでいません。
- ・処理量の不足は見られません。

○ 北の山浄水場

- ・建築から 30 年以上経過しており、建物の老朽化が見られます。土砂災害地域に位置しているため、移転を計画しております。
- ・処理量の不足は見られません。

○ 南部浄水場

- ・建築が平成 30 年度と比較的新しい施設であるため、特段建物の老朽化は進んでいません。
- ・処理量の不足は見られません。

○ 泉津浄水場

- ・ 建築が令和 3 年度と比較的新しい施設であるため、特段建物の老朽化は進んでいません。
- ・ 処理量の不足は見られません。

④ 送水施設

○ 高々区増圧ポンプ場

- ・ 建築から 20 年以上経過しているものの、特段建物の老朽化は進んでいません。
- ・ 処理量の不足は見られません。

○ 間伏増圧ポンプ場

- ・ 建築から 30 年以上経過しているものの、特段建物の老朽化は進んでいません。
- ・ 処理量の不足は見られません。

○ 野増調整池

- ・ 建築から 40 年以上経過しているものの、特段老朽化は進んでいません。
- ・ 処理量の不足は見られません。

⑤ 電気計装施設

○ 仲中電気室

- ・ 建築から 30 年以上経過しているものの、特段建物の老朽化は進んでいません。
- ・ 北の山浄水場への移設が計画されています。
- ・ 処理量の不足は見られません。

⑥ 配水施設

○ 家の上第 1 配水池

- ・ 建築から 50 年以上経過しており、建物の老朽化が見られます。
- ・ 家の上第 3 配水池と複合化を計画しています。
- ・ 処理量の不足は見られません。

○ 家の上第 3 配水池

- ・ 建築から 40 年以上経過しており、建物の老朽化が見られます。
- ・ 家の上第 1 配水池と複合化を計画しています。
- ・ 処理量の不足は見られません。

○ 波浮港配水池

- ・ 建築から 70 年近く経過しており、建物の老朽化が見られます。
- ・ 他施設に機能を移管することを計画しています。

第4章 施設の評価及び対策優先順位の考え方

1 施設の評価

(1) ハード（施設の老朽化度）の評価

評価基準は、「劣化状況評価」と「耐用年数評価」に基づいて設定します。なお、評価時点は評価実施の前年度末時点とします。

「劣化状況評価」については、文部科学省「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書（http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/29/03/1383568.htm）」の内容を準用し、「耐用年数評価」については、建築保全センター「平成31年度版建築物のライフサイクルコスト」（国土交通省大臣官房官庁営繕室監修）の更新周期を準用して評価を実施します。

評価対象とする部位と、各部位の評価基準は以下のとおりです。

図表 4-1-1-1 部位別の評価対象

部位（評価単位）	単位ごとの評価対象
1 屋根・屋上	勾配屋根状況、防水
2 外壁・外部開口部	外壁、塗装、外部仕上げ、外部建具
3 内部仕上	床、壁、天井、内部建具、内部仕上げ
4 電気設備	受変電、電力・電灯、防災、昇降設備
5 給排水衛生設備	給水、排水、給湯、衛生、消火設備
6 空調換気設備	空調、換気

① 劣化状況評価

点検項目の「1 屋根・屋上」と「2 外壁・外部開口部」については、「劣化状況評価」を実施し、劣化状況に応じて a～d のランク付けを行いました。

図表 4-1-1-2 劣化状況評価基準

評価項目	評価	基準
劣化状況評価	a	良好（劣化箇所数 0）
	b	部分的に劣化（劣化箇所数 1～5）
	c	広範囲・全体的に劣化（劣化箇所数 6～9）
	d	早期に修繕が必要（劣化箇所数 10～）

なお、法令点検（建築基準法第12条に基づく定期点検）が実施されている施設に関しては、以下の評価に基づいて「劣化状況評価」に代用することも可能とします。

図表 4-1-1-3 法令点検に基づく劣化状況評価基準

法令点検における指摘有無	分類	評価
無し		a
有り	既存不適格あり	b
	要是正（軽微）※	c
	要是正（重大）	d

※法令点検の結果が、「要是正」であっても、日常活動する上で支障をきたさない場合にはcとします。

② 耐用年数評価

点検項目の「3内部仕上」～「6空調換気設備」については、「耐用年数評価」を実施し、経過年数に応じてa～dのランク付けを行いました。

図表 4-1-1-4 耐用年数評価基準

評価項目	評価	基準
耐用年数評価	a	経過年数が耐用年数内
	b	経過年数が耐用年数超～40年未満
	c	経過年数が40年超
	d	劣化に伴い使用が不可能な状態の施設

なお、小規模施設等（50㎡未満の施設又は経過年数が10年以内の施設）については、劣化状況評価を実施していないため、以下の評価とします。

図表 4-1-1-4 小規模施設等の劣化状況評価基準

評価	基準
a	経過年数が10年以内の施設 5年以内に大規模改修を実施済みの施設
b	経過年数が10年超～40年以内の施設
c	経過年数が40年以上の施設
d	劣化に伴い使用が不可能な状態の施設

③ 評価点の算出方法

上記①及び②により求めた部位別の評価に対して、以下の評価点及び配点割合に基づき総合評価点を算定しました。

なお、配点割合については、文部科学省「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書（http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/29/03/1383568.htm）」の内容を参考に設定しています。

図表 4-1-1-5 ハードの評価点算出基準

部位別評価		部位別の配点割合	
評価	評価点	部位	配点割合
a	100点	1 屋根・屋上	5.1
b	75点	2 外壁・外部開口部	17.2
c	40点	3 内部仕上	22.4
d	10点	4 電気設備	8
		5 給排水衛生設備	3.65
		6 空調換気設備	3.65
		合計	60

総合評価点については、A～Dの区分による総合評価を行いました。

図表 4-1-1-6 ハードの総合評価の算定方法

総合評価		総合評価算定事例				
総合評価点	総合評価	部位	評価	評価点	配点割合	評価点×コスト配分
100点	A	1 屋根・屋上	a	100	5.1	510
75点以上	B	2 外壁・外部開口部	c	40	17.2	688
40点以上75点未満	C	3 内部仕上	c	40	22.4	896
40点未満	D	4 電気設備	c	40	8	320
		5 給排水衛生設備	c	40	3.65	146
		6 空調換気設備	c	40	3.65	146
				計	60	2706
					÷60	45.1
					総合評価点	45.1
					総合評価	C

(2) ソフト（利用状況・必要性等）による評価

本町では、ソフト（利用状況・必要性等）の評価を行うにあたり、行政サービス提供需要（その施設が提供するサービスを利用者が求めている程度）の現在の状況や将来の動向、施設を現在の規模で維持することの必要性や施設を現在の位置に配置することの必要性を点数化して評価を行いました。

① 行政サービス提供需要、必要性等による評価の詳細

現在の行政サービス提供需要について「高い」「やや高い」「中」「やや低い」「低い」の5段階、将来の行政サービス提供需要について「増加」「やや増加」「現状維持」「やや減少」「減少」の5段階による評価を行いました。

また、施設を現在の規模で維持することの必要性及び施設を現在の位置に配置することの必要性について、それぞれ「高い」「やや高い」「中」「やや低い」「低い」の5段階による評価を行いました。

これらの評価に応じて a～e のランク付けを行い、配点を行いました。

図表 4-1-2-2 ソフトの評価点算出基準

行政サービス提供需要		必要性		ランク	配点
現在	将来	現在の規模で維持	現在の位置で配置		
高い	増加	高い	高い	a	25.0 点
やや高い	やや増加	やや高い	やや高い	b	20.0 点
中	現状維持	中	中	c	15.0 点
やや低い	やや減少	やや低い	やや低い	d	10.0 点
低い	減少	低い	低い	e	5.0 点

② 評価点の算出方法

上記①及び②により求めた点を合計し、以下のとおりA～Dの区分による総合評価を行いました。

図表 4-1-2-3 ソフトの総合評価の算定方法

総合評価	得 点
A	80.0 点以上
B	60.0 点以上 80.0 点未満
C	40.0 点以上 60.0 点未満
D	40.0 点未満

【例】

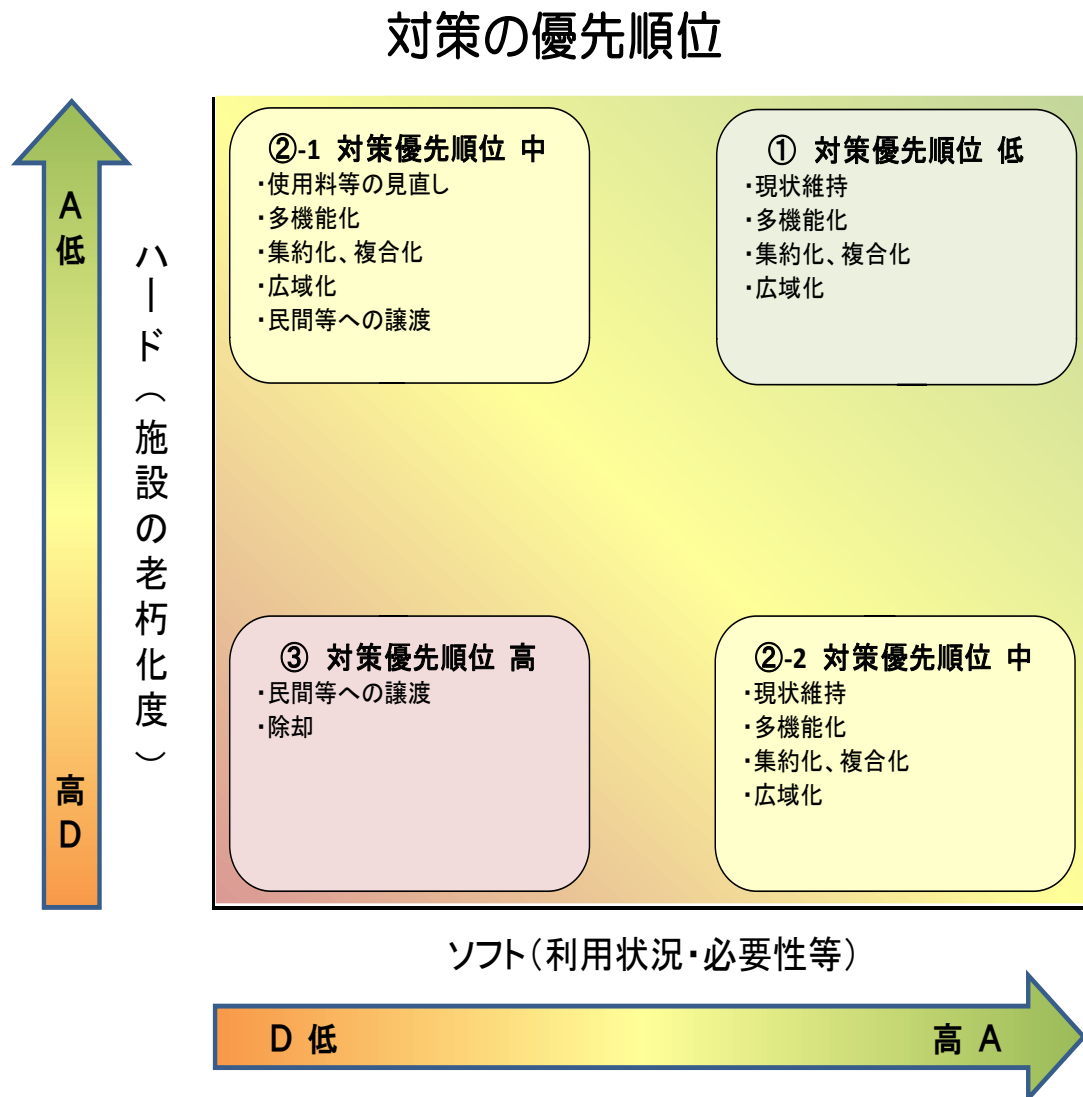
現在の行政サービス提供需要：高い（a）、将来の行政サービス提供需要：やや増加（b）、施設を現在の規模で維持する必要性：やや高い（b）、施設を現在の位置で配置する必要性：中（c）の場合

現在の行政サービス提供需要 25.0 点（a）＋ 将来の行政サービス提供需要 20.0 点（b）＋ 施設を現在の規模で維持する必要性 20.0 点（b）＋ 施設を現在の位置で配置する必要性 15.0 点（c） ＝ 80.0 点（総合評価 A）

2 対策優先順位の考え方

前述の評価結果を以下の区分に当てはめ、その他の要因等も参考にしながら、施設の対策優先順位付けを行います。ただし、劣化診断により補修等を実施しなければ利用者の安全・安心に関わる部分が判明した場合は、速やかに補修等の対応を実施していくものとします。

図表 4-2-1 対策の優先順位の設定基準



(1)施設の老朽化度が低く、利用状況・必要性等も高い(①対策優先順位 低)

施設の状態(ハード)が健全で利用ニーズ(ソフト)も高いため、予防保全による維持管理を実施し長寿命化を図っていきます。計画の見直し時期には多機能化や集約化等の可能性についてあわせて検討します。

(2)施設の老朽化度は低いが、利用状況・必要性等が低い(②-1対策優先順位 中)

施設の状態(ハード)が健全であるが、利用ニーズ(ソフト)が低いことから、利用ニーズに対応したサービス水準となるよう見直しを行うとともに、施設の多機能化や集約化、民間等への譲渡等、総量を抑制するための検討を行っていきます。

(3)施設の老朽化度は高いが、利用状況・必要性等が高い(②-2対策優先順位 中)

利用ニーズ(ソフト)が高いため、老朽化が進行している施設に対しては、劣化診断の判定結果が好ましくないものから優先的に詳細調査等を実施し、長寿命化等の対策を図っていきます。

また、併せて財政負担の平準化も図る中で、近隣の類似施設との複合化や他施設の多機能化による機能移転、広域利用が可能な施設については広域化についても検討します。

(4)施設の老朽化度が高く、利用状況・必要性等も低い(③対策優先順位 高)

利用ニーズ(ソフト)が低い要因をよく検証するとともに、近隣の類似施設との複合化や他施設の多機能化による機能移転、民間等への譲渡等、あらゆる角度から検討を行い、地域の活性化に向けて可能な限り施設の有効活用に努めます。

3 方針の種類

【存続（総量増加）】

- ・将来まで継続した需要がある施設であるため、日常的な点検や定期的な修繕に加え、計画的な予防保全により存続させるとともに、建物の耐用年数に合わせて更新（建替え）をします。
- ・更新時には現在及び将来の行政サービス需要を踏まえて、施設規模の拡大を検討します。

【存続（総量維持）】

- ・将来まで継続した需要がある施設であるため、日常的な点検や定期的な修繕に加え、計画的な予防保全により存続させるとともに、建物の耐用年数に合わせて更新（建替え）をします。
- ・更新時には現在及び将来の行政サービス需要を踏まえて、現在の施設規模を維持する方向で更新を検討します。

【存続（統合・複合化・多機能化）】

- ・将来まで継続した需要がある施設であるため、日常的な点検や定期的な修繕に加え、計画的な予防保全により存続させるとともに、建物の耐用年数に合わせて更新（建替え）をします。
- ・更新の計画時には、同種又は類似の施設を統合して一体の施設に整備できるか（統合）、または異なる種類の施設を合築して複数機能を持たせ再整備できるか（複合化）、あるいは 1 つの施設に複数の機能を持たせ再整備できるか（多機能化）を視野に入れて検討します。

【将来的に機能移管】

- ・日常的な点検や定期的な修繕により、施設を現状のまま存続しつつ、将来的に他施設への機能を移管し、建物の建替えを行わず機能を廃止します。

【将来的に民間譲渡】

- ・日常的な点検や定期的な修繕により、施設を現状のまま存続しつつ、将来的に民間へ施設を譲渡し、機能を廃止します。

【将来的に機能廃止】

- ・日常的な点検や定期的な修繕により、施設を現状のまま存続しつつ、将来的に建物の建替えを行わず機能を廃止します。

第5章 施設の評価結果及び今後の方針

1 町民文化系施設（集会施設）

（１）ハード（施設の老朽化度）の評価結果

町民文化系施設（集会施設）の評価結果は、以下のとおりです。

図表 5-1-1 ハードの評価結果（町民文化系施設（集会施設））

施設名称	建物名称	建設年度 (年)	経過 年数 (年)	屋根・屋上	外壁・外部開口部	内部仕上	電気設備	給排水衛生設備	空調換気設備	総合評価
岡田コミュニティーセンター	岡田コミュニティーセンター	1994	28	b	b	b	b	b	a	B
野増地域防災コミュニティセンター	野増地域防災コミュニティセンター	2016	6	-	-	-	-	-	-	A
間伏地域防災コミュニティセンター	間伏地域防災コミュニティセンター	2016	6	-	-	-	-	-	-	A

(2) ソフト（利用状況・必要性等）による評価結果

町民文化系施設（集会施設）の現在、将来の提供需要、各種必要性については、以下のとおりです。

図表 5-1-2 ソフトの評価結果（町民文化系施設（集会施設））

施設名称	建物名称	行政サービス 提供需要		現在の 規模 での 必要性	現在の 位置 での 必要性	総合 評価
		現在	将来			
岡田コミュニ ティーセンタ ー	岡田コミュニ ティーセンター	中	現状維 持	やや高 い	中	B
野増地域防災 コミュニティー センター	野増地域防災コ ミュニティーセ ンター	中	やや減 少	やや高 い	中	B
間伏地域防災 コミュニティー センター	間伏地域防災コ ミュニティーセ ンター	中	やや減 少	やや高 い	やや低 い	C

(3) 施設ごとの方針

最終的な施設ごとの方針決定にあたっては、第4章2「対策優先順位の考え方」において前述した評価ロジックを基礎として、その他に考慮すべき事項（既に決定されている他の計画や施策における今後の施設方針との整合性等）を総合的に勘案して、方針を決定しています。

図表 5-1-3 施設別の今後の方針（町民文化系施設（集会施設））

施設名称	建物名称	評価		優先 順位	方針	その他に 考慮した事項
		ハード	ソフト			
岡田コミュニ ティーセンタ ー	岡田コミュニ ティーセンター	B	B	中	存続（総量維 持）	
野増地域防 災コミュニ ティーセン ター	野増地域防災コ ミュニティーセ ンター	A	B	低	存続（統合・複 合化・多機能 化）	

施設名称	建物名称	評価		優先 順位	方針	その他に 考慮した事項
		ハード	ソフト			
間伏地域防災コミュニティセンター	間伏地域防災コミュニティセンター	A	C	中	存続（統合・複合化・多機能化）	

2 社会教育系施設（博物館等）

（１）ハード（施設の老朽化度）の評価結果

社会教育系施設（博物館等）の評価結果は、以下のとおりです。

図表 5-2-1 ハードの評価結果（社会教育系施設（博物館等））

施設名称	建物名称	建設年 度 (年)	経過 年数 (年)	屋根・屋上	外壁・外部開口部	内部仕上	電気設備	給排水衛生設備	空調換気設備	総合評価
伊豆大島火山博物館	伊豆大島火山博物館	1990	32	d	c	b	b	b	b	C

（２）ソフト（利用状況・必要性等）による評価結果

社会教育系施設（博物館等）の現在、将来の提供需要、各種必要性については、以下のとおりです。

図表 5-2-2 ソフトの評価結果（社会教育系施設（博物館等））

施設名称	建物名称	行政サービス 提供需要		現在の 規模 での 必要性	現在の 位置 での 必要性	総合 評価
		現在	将来			
伊豆大島火山博物館	伊豆大島火山博物館	低い	増加	高い	中	B

（３）施設ごとの方針

最終的な施設ごとの方針決定にあたっては、第４章２「対策優先順位の考え方」において前述した評価ロジックを基礎として、その他に考慮すべき事項（既に決定されている他の計画や施策における今後の施設方針との整合性等）を総合的に勘案して、方針を決定しています。

図表 5-2-3 施設別の今後の方針（社会教育系施設（博物館等））

施設名称	建物名称	評価		優先 順位	方針	その他に 考慮した事項
		ハード	ソフト			
伊豆大島火山 博物館	伊豆大島火山 博物館	C	B	中	存続（総量増加）	

3 レクリエーション・観光系施設（温泉施設）

（１）ハード（施設の老朽化度）の評価結果

レクリエーション・観光系施設（温泉施設）の評価結果は、以下のとおりです。

図表 5-3-1 ハードの評価結果（レクリエーション・観光系施設（温泉施設））

施設名称	建物名称	建設年 度 (年)	経過 年数 (年)	屋根・屋上	外壁・外部開口部	内部仕上	電気設備	給排水衛生設備	空調換気設備	総合評価
大島温泉元町浜の湯	大島温泉元町浜の湯	1991	31	-	-	-	-	-	-	B
	大島温泉元町浜の湯 受付小屋	1994	28	-	-	-	-	-	-	B
小清水ポンプ小屋	小清水ポンプ小屋	1996	26	-	-	-	-	-	-	B
愛らんどセンター御神火温泉	愛らんどセンター御神火温泉	1999	23	d	d	c	c	c	c	D
大津ポンプ小屋	大津ポンプ小屋	1993	29	-	-	-	-	-	-	B

(2) ソフト（利用状況・必要性等）による評価結果

レクリエーション・観光系施設（温泉施設）の現在、将来の提供需要、各種必要性については、以下のとおりです。

図表 5-3-2 ソフトの評価結果（レクリエーション・観光系施設（温泉施設））

施設名称	建物名称	行政サービス 提供需要		現在の 規模 での 必要性	現在の 位置 での 必要性	総合 評価
		現在	将来			
大島温泉元町浜の湯	大島温泉元町浜の湯	中	減少	低い	低い	D
	大島温泉元町浜の湯 受付小屋	中	減少	低い	低い	D
小清水ポンプ小屋	小清水ポンプ小屋	やや高い	現状維持	やや高い	やや高い	B
愛らんどセンター御 神火温泉	愛らんどセンター御 神火温泉	やや高い	現状維持	やや高い	やや高い	B
大津ポンプ小屋	大津ポンプ小屋	やや高い	現状維持	やや高い	やや高い	B

（３）施設ごとの方針

最終的な施設ごとの方針決定にあたっては、第４章２「対策優先順位の考え方」において前述した評価ロジックを基礎として、その他に考慮すべき事項（既に決定されている他の計画や施策における今後の施設方針との整合性等）を総合的に勘案して、方針を決定しています。

図表 5-3-3 施設別の今後の方針（レクリエーション・観光系施設（温泉施設））

施設名称	建物名称	評価		優先順位	方針	その他に考慮した事項
		ハード	ソフト			
大島温泉元町浜の湯	大島温泉元町浜の湯	B	D	高	存続（統合・複合化・多機能化）	将来的に愛らんどセンター御神火温泉との統合を検討
	大島温泉元町浜の湯 受付小屋	B	D	高	存続（統合・複合化・多機能化）	
小清水ポンプ小屋	小清水ポンプ小屋	B	B	中	存続（総量維持）	
愛らんどセンター御神火温泉	愛らんどセンター御神火温泉	D	B	高	存続（統合・複合化・多機能化）	設備の全面改修を検討
大津ポンプ小屋	大津ポンプ小屋	B	B	中	存続（総量維持）	

4 レクリエーション・観光系施設（観光系施設）

（１）ハード（施設の老朽化度）の評価結果

レクリエーション・観光系施設（観光系施設）の評価結果は、以下のとおりです。

図表 5-4-1 ハードの評価結果（レクリエーション・観光系施設（観光系施設））

施設名称	建物名称	建設年 度 (年)	経過 年数 (年)	屋根・ 屋上	外壁・ 外部開口部	内部 仕上	電気 設備	給排 水衛生 設備	空調 換気 設備	総合 評価
秋の浜	秋の浜公衆便所	1988	34	-	-	-	-	-	-	B
	秋の浜ポンプ小屋	1993	29	-	-	-	-	-	-	B
弘法浜	弘法浜公衆便所	2009	13	-	-	-	-	-	-	B
	弘法浜更衣室	2016	6	-	-	-	-	-	-	A
	弘法浜売店 1	不明	-	-	-	-	-	-	-	C
	弘法浜売店 2	不明	-	-	-	-	-	-	-	C
万立 四阿	万立 四阿	1992	30	-	-	-	-	-	-	B
王の浜	王の浜公衆便所	1994	28	-	-	-	-	-	-	B
砂の浜	砂の浜公衆便所	2010	12	-	-	-	-	-	-	B
旧港屋旅館	旧港屋旅館	不明	-	c	d	c	c		c	D
	旧港屋旅館 便所	不明	-	-	-	-	-	-	-	C
旧甚の丸邸	旧甚の丸邸	不明	-	d	d	c	c		c	D
	旧甚の丸邸 倉庫	不明	-	-	-	-	-	-	-	C
	旧甚の丸邸 便所	1990	32	-	-	-	-	-	-	B
レストセンター	レストセンター	1993	29	b	c	b	b	b	a	C
大島観光案内センター	大島観光案内センター	2010	12	d	d	a	a	d	a	C
三原山観光展示棟	三原山観光展示棟 管理棟	1990	32	-	-	-	-	-	-	B
鉄砲場	鉄砲場公衆トイレ	2013	9	-	-	-	-	-	-	A

(2) ソフト（利用状況・必要性等）による評価結果

レクリエーション・観光系施設（観光系施設）の現在、将来の提供需要、各種必要性については、以下のとおりです。

図表 5-4-2 ソフトの評価結果（レクリエーション・観光系施設（観光系施設））

施設名称	建物名称	行政サービス 提供需要		現在の 規模 での 必要性	現在の 位置 での 必要性	総合 評価
		現在	将来			
秋の浜	秋の浜公衆便所	やや高い	現状維持	やや高い	やや高い	B
	秋の浜ポンプ小屋	やや低い	現状維持	やや低い	やや低い	C
弘法浜	弘法浜公衆便所	やや高い	現状維持	やや高い	やや高い	B
	弘法浜更衣室	やや高い	現状維持	やや高い	やや高い	B
	弘法浜売店1	中	現状維持	中	中	B
	弘法浜売店2	中	現状維持	中	中	B
万立 四阿	万立 四阿	低い	減少	低い	低い	D
王の浜	王の浜公衆便所	中	やや減少	中	中	C
砂の浜	砂の浜公衆便所	やや低い	現状維持	やや低い	やや低い	C
旧港屋旅館	旧港屋旅館	中	減少	中	中	C
	旧港屋旅館 便所	中	減少	中	中	C
旧碁の丸邸	旧碁の丸邸	中	減少	中	中	C
	旧碁の丸邸 倉庫	中	減少	中	中	C
	旧碁の丸邸 便所	中	減少	中	中	C
レストセンター	レストセンター	中	やや減少	中	中	C

施設名称	建物名称	行政サービス 提供需要		現在の 規模 での 必要性	現在の 位置 での 必要性	総合 評価
		現在	将来			
大島観光案内センター	大島観光案内センター	中	現状維持	中	中	B
三原山観光展示棟	三原山観光展示棟 管理棟	低い	減少	低い	低い	D
鉄砲場	鉄砲場公衆トイレ	やや低い	やや減少	やや低い	やや低い	C

(3) 施設ごとの方針

最終的な施設ごとの方針決定にあたっては、第4章2「対策優先順位の考え方」において前述した評価ロジックを基礎として、その他に考慮すべき事項（既に決定されている他の計画や施策における今後の施設方針との整合性等）を総合的に勘案して、方針を決定しています。

図表 5-4-3 施設別の今後の方針（レクリエーション・観光系施設（観光系施設））

施設名称	建物名称	評価		優先 順位	方針	その他に 考慮した事 項
		ハ ー ド	ソ フ ト			
秋の浜	秋の浜公衆便 所	B	B	中	存続（総量維 持）	
	秋の浜ポンプ 小屋	B	C	中	将来的に機能 廃止	
弘法浜	弘法浜公衆便 所	B	B	中	存続（総量維 持）	
	弘法浜更衣室	A	B	低	存続（総量維 持）	
	弘法浜売店1	C	B	中	将来的に民間 譲渡	
	弘法浜売店2	C	B	中	将来的に民間 譲渡	
万立 四阿	万立 四阿	B	D	中	将来的に機能 廃止	
王の浜	王の浜公衆便 所	B	C	中	存続（総量維 持）	
砂の浜	砂の浜公衆便 所	B	C	中	存続（総量維 持）	
旧港屋旅館	旧港屋旅館	D	C	高	存続（総量維 持）	今後の維持 管理コスト を考慮して 存続させる
	旧 港 屋 旅 館 便所	C	C	高	存続（総量維 持）	

施設名称	建物名称	評価		優先 順位	方針	その他に 考慮した事 項
		ハード	ソフト			
旧甚の丸邸	旧甚の丸邸	D	C	高	存続（総量維持）	か引き続き 検討
	旧 甚 の 丸 邸 倉庫	C	C	高	存続（総量維持）	
	旧 甚 の 丸 邸 便所	B	C	中	存続（総量維持）	
レストセンタ ー	レストセンタ ー	C	C	高	存続（総量維持）	登山者等の 休憩および トイレ使用 として必要 なため
大島観光案内 センター	大島観光案内 センター	C	B	中	存続（総量維持）	
三原山観光展 示棟	三原山観光展 示棟 管理棟	B	D	高	将来的に機能 廃止	
鉄砲場	鉄砲場公衆ト イレ	A	C	中	存続（総量維持）	

5 レクリエーション・観光系施設（スポーツ施設）

（１）ハード（施設の老朽化度）の評価結果

レクリエーション・観光系施設（スポーツ施設）の評価結果は、以下のとおりです。

図表 5-5-1 ハードの評価結果（レクリエーション・観光系施設（スポーツ施設））

施設名称	建物名称	建設年度 (年)	経過年数 (年)	屋根・屋上	外壁・外部開口部	内部仕上	電気設備	給排水衛生設備	空調換気設備	総合評価
差木地プール	更衣室・ポンプ室	1972	50	-	-	-	-	-	-	C
弘法浜サンセツトプール	管理棟・更衣室等	2015	7	-	-	-	-	-	-	A

(2) ソフト（利用状況・必要性等）による評価結果

レクリエーション・観光系施設（スポーツ施設）の現在、将来の提供需要、各種必要性については、以下のとおりです。

図表 5-5-2 ソフトの評価結果（レクリエーション・観光系施設（スポーツ施設））

施設名称	建物名称	行政サービス 提供需要		現在の 規模 での 必要性	現在の 位置 での 必要性	総合 評価
		現在	将来			
差木地プール	更衣室・ポンプ室	低い	減少	低い	低い	D
弘法浜サンセットプール	管理棟・更衣室等	やや高い	現状維持	やや高い	やや高い	B

（３） 施設ごとの方針

最終的な施設ごとの方針決定にあたっては、第４章２「対策優先順位の考え方」において前述した評価ロジックを基礎として、その他に考慮すべき事項（既に決定されている他の計画や施策における今後の施設方針との整合性等）を総合的に勘案して、方針を決定しています。

図表 5-5-3 施設別の今後の方針（レクリエーション・観光系施設（スポーツ施設））

施設名称	建物名称	評価		優先 順位	方針	その他に 考慮した事 項
		ハ ー ド	ソ フ ト			
差木地プール	更衣室・ポンプ 室	C	D	高	将来的に機能 廃止	
弘法浜サンセ ットプール	管理棟・更衣室 等	A	B	低	存続（総量維 持）	

6 産業系施設（産業振興施設）

（１）ハード（施設の老朽化度）の評価結果

産業系施設（産業振興施設）の評価結果は、以下のとおりです。

図表 5-6-1 ハードの評価結果（産業系施設（産業振興施設））

施設名称	建物名称	建設年 度 (年)	経過 年数 (年)	屋根・ 屋上	外壁・外部開口部	内部 仕上	電気 設備	給排水衛生 設備	空調換気 設備	総合 評価
新開牧場	新開牧場牛舎・搾乳棟	1999	23	b	b	b	b	b	a	B
	新開牧場育成舎	2000	22	b	b	b	b	b	a	B
	新開牧場管理舎	1974	48	-	-	-	-	-	-	C
	新開牧場飼料用倉庫	2001	21	-	-	-	-	-	-	B
	牧場堆肥舎	1999	23	a	b					B
農産物直売所ぶらっとハウス	農産物直売所ぶらっとハウス	2001	21	a	a	b	b	b	b	B
差木地花卉集荷所 1	差木地花卉集荷所 1	1973	49	-	-	-	-	-	-	C
差木地花卉集荷所 2	差木地花卉集荷所 2	2001	21	-	-	-	-	-	-	B
北の山事務所	北の山事務所	1969	53	a	a	c	c	c	c	C
牛乳工場	牛乳工場	1998	24	a	a	b	b	b	b	B
大滝農業用水	波浮港旧井戸建屋	1983	39	-	-	-	-	-	-	A
	波浮港配水槽建屋	1983	39	-	-	-	-	-	-	A
	クダッチ取水場建屋	1993	29	-	-	-	-	-	-	A
滝川農業用水	サンドフィルター建屋	2007	15	-	-	-	-	-	-	B
沢立農業用水	サンドフィルター建屋	2012	10	-	-	-	-	-	-	B

(2) ソフト（利用状況・必要性等）による評価結果

産業系施設（産業振興施設）の現在、将来の提供需要、各種必要性については、以下のとおりです。

図表 5-6-2 ソフトの評価結果（産業系施設（産業振興施設））

施設名称	建物名称	行政サービス 提供需要		現在の 規模 での 必要性	現在の 位置 での 必要性	総合 評価
		現在	将来			
新開牧場	新開牧場牛舎・搾乳棟	やや高い	やや減少	高い	高い	A
	新開牧場育成舎	やや高い	やや減少	高い	高い	A
	新開牧場管理舎	やや高い	やや減少	高い	高い	A
	新開牧場飼料用倉庫	やや高い	やや減少	高い	高い	A
	牧場堆肥舎	やや高い	やや減少	高い	高い	A
農産物直売所 ぶらっとハウス	農産物直売所ぶらっとハウス	中	現状維持	高い	やや高い	B
差木地花卉集荷所 1	差木地花卉集荷所 1	高い	減少	高い	高い	A
差木地花卉集荷所 2	差木地花卉集荷所 2	高い	減少	高い	高い	A
北の山事務所	北の山事務所	やや高い	やや減少	高い	高い	A
牛乳工場	牛乳工場	やや高い	やや減少	高い	高い	A
大滝農業用水	波浮港旧井戸建屋	高い	減少	高い	高い	A
	波浮港配水槽建屋	高い	減少	高い	高い	A
	クダッチ取水場建屋	高い	減少	高い	高い	A

施設名称	建物名称	行政サービス 提供需要		現在の 規模 での 必要性	現在の 位置 での 必要性	総合 評価
		現在	将来			
滝川農業用水	サンドフィルタ ー建屋	高い	減少	高い	高い	A
沢立農業用水	サンドフィルタ ー建屋	高い	減少	高い	高い	A

(3) 施設ごとの方針

最終的な施設ごとの方針決定にあたっては、第4章2「対策優先順位の考え方」において前述した評価ロジックを基礎として、その他に考慮すべき事項（既に決定されている他の計画や施策における今後の施設方針との整合性等）を総合的に勘案して、方針を決定しています。

図表 5-6-3 施設別の今後の方針（産業系施設（産業振興施設））

施設名称	建物名称	評価		優先 順位	方針	その他に 考慮した事 項
		ハ ー ド	ソ フ ト			
新開牧場	新開牧場牛舎・搾乳棟	B	A	低	存続（総量維持）	
	新開牧場育成舎	B	A	低	存続（総量維持）	
	新開牧場管理舎	C	A	中	存続（総量維持）	
	新開牧場飼料用倉庫	B	A	低	存続（総量維持）	
	牧場堆肥舎	B	A	低	存続（総量維持）	
農産物直売所 ぶらっとハウス	農産物直売所 ぶらっとハウス	B	B	中	存続（総量維持）	
差木地花卉集荷所 1	差木地花卉集荷所 1	C	A	中	存続（総量維持）	
差木地花卉集荷所 2	差木地花卉集荷所 2	B	A	低	存続（総量維持）	
北の山事務所	北の山事務所	C	A	中	存続（総量維持）	
牛乳工場	牛乳工場	B	A	低	存続（総量維持）	
大滝農業用水	波浮港旧井戸 建屋	A	A	低	存続（総量維持）	

施設名称	建物名称	評価		優先 順位	方針	その他に 考慮した事 項
		ハード	ソフト			
	波浮港配水槽 建屋	A	A	低	存続（総量維 持）	
	クダッチ取水 場建屋	A	A	低	存続（総量維 持）	
滝川農業用水	サンドフィル ター建屋	B	A	中	存続（総量維 持）	
沢立農業用水	サンドフィル ター建屋	B	A	中	存続（総量維 持）	

7 産業系施設（倉庫）

（１）ハード（施設の老朽化度）の評価結果

産業系施設（倉庫）の評価結果は、以下のとおりです。

図表 5-7-1 ハードの評価結果（産業系施設（倉庫））

施設名称	建物名称	建設年 度 (年)	経過 年数 (年)	屋根・屋上	外壁・外部開口部	内部仕上	電気設備	給排水衛生設備	空調換気設備	総合評価
差木地倉庫	差木地倉庫	1973	49	a	b	d	d	-	-	D
北の山店舗及び倉庫	北の山店舗及び倉庫	1985	37	b	b	b	b	b	b	B

（２）ソフト（利用状況・必要性等）による評価結果

産業系施設（倉庫）の現在、将来の提供需要、各種必要性については、以下のとおりです。

図表 5-7-2 ソフトの評価結果（産業系施設（倉庫））

施設名称	建物名称	行政サービス 提供需要		現在の 規模 での 必要性	現在の 位置 での 必要性	総合 評価
		現在	将来			
差木地倉庫	差木地倉庫	高い	減少	高い	高い	A
北の山店舗及び倉庫	北の山店舗及び倉庫	やや高い	やや減少	高い	高い	A

（３） 施設ごとの方針

最終的な施設ごとの方針決定にあたっては、第４章２「対策優先順位の考え方」において前述した評価ロジックを基礎として、その他に考慮すべき事項（既に決定されている他の計画や施策における今後の施設方針との整合性等）を総合的に勘案して、方針を決定しています。

図表 5-7-3 施設別の今後の方針（産業系施設（倉庫））

施設名称	建物名称	評価		優先 順位	方針	その他に 考慮した 事項
		ハード	ソフト			
差木地倉庫	差木地倉庫	D	A	中	存続（総量維持）	
北の山店舗及び倉庫	北の山店舗及び倉庫	B	A	低	存続（総量維持）	

8 産業系施設（販売施設）

（１）ハード（施設の老朽化度）の評価結果

産業系施設（販売施設）の評価結果は、以下のとおりです。

図表 5-8-1 ハードの評価結果（産業系施設（販売施設））

施設名称	建物名称	建設年 度 (年)	経過 年数 (年)	屋根・ 屋上	外壁・外部開口部	内部 仕上	電気 設備	給排水衛生 設備	空調換気 設備	総合 評価
水産物展示販売施設（海市場）	地域産物展示販売施設（海市場）	2003	19	a	b	b	a	b	b	B

（２）ソフト（利用状況・必要性等）による評価結果

産業系施設（販売施設）の現在、将来の提供需要、各種必要性については、以下のとおりです。

図表 5-8-2 ソフトの評価結果（産業系施設（販売施設））

施設名称	建物名称	行政サービス 提供需要		現在の 規模 での 必要性	現在の 位置 での 必要性	総合 評価
		現在	将来			
水産物展示販売施設（海市場）	地域産物展示販売施設（海市場）	高い	増加	中	やや高い	A

（３） 施設ごとの方針

最終的な施設ごとの方針決定にあたっては、第４章２「対策優先順位の考え方」において前述した評価ロジックを基礎として、その他に考慮すべき事項（既に決定されている他の計画や施策における今後の施設方針との整合性等）を総合的に勘案して、方針を決定しています。

図表 5-8-3 施設別の今後の方針（産業系施設（販売施設））

施設名称	建物名称	評価		優先 順位	方針	その他に 考慮した 事項
		ハード	ソフト			
水産物展示販売施設（海市場）	地域産物展示販売施設（海市場）	B	A	低	存続（総量維持）	

9 学校教育系施設（その他の学校教育施設）

（１）ハード（施設の老朽化度）の評価結果

学校教育系施設（その他の学校教育施設）の評価結果は、以下のとおりです。

図表 5-9-1 ハードの評価結果（学校教育系施設（その他の学校教育施設））

施設名称	建物名称	建設年 度 (年)	経過 年数 (年)	屋根・屋上	外壁・外部開口部	内部仕上	電気設備	給排水衛生設備	空調換気設備	総合評価
大島町立学校給食センター	大島町立学校給食センター	1993	29	b	b	b	b	b	b	B

（２）ソフト（利用状況・必要性等）による評価結果

学校教育系施設（その他の学校教育施設）の現在、将来の提供需要、各種必要性については、以下のとおりです。

図表 5-9-2 ソフトの評価結果（学校教育系施設（その他の学校教育施設））

施設名称	建物名称	行政サービス 提供需要		現在の 規模 での 必要性	現在の 位置 での 必要性	総合 評価
		現在	将来			
大島町立学校給食センター	大島町立学校給食センター	高い	減少	中	中	B

（３） 施設ごとの方針

最終的な施設ごとの方針決定にあたっては、第４章２「対策優先順位の考え方」において前述した評価ロジックを基礎として、その他に考慮すべき事項（既に決定されている他の計画や施策における今後の施設方針との整合性等）を総合的に勘案して、方針を決定しています。

図表 5-9-3 施設別の今後の方針（学校教育系施設（その他の学校教育施設））

施設名称	建物名称	評価		優先 順位	方針	その他に 考慮した 事項
		ハード	ソフト			
大島町立学校 給食センター	大島町立学校 給食センター	B	B	中	存続（総量維持）	

10 保健・福祉施設（その他施設）

（１）ハード（施設の老朽化度）の評価結果

保健・福祉施設（その他施設）の評価結果は、以下のとおりです。

図表 5-10-1 ハードの評価結果（保健・福祉施設（その他施設））

施設名称	建物名称	建設 年度 (年)	経過 年数 (年)	屋根・ 屋上	外壁・ 外部開口部	内部 仕上	電気 設備	給排水衛生 設備	空調換気 設備	総合 評価
黒潮作業所	住宅 1	1999	23	b	b	b	b	b	a	B
	住宅 2	1999	23	b	b	b	b	-	-	B

（２）ソフト（利用状況・必要性等）による評価結果

保健・福祉施設（その他施設）の現在、将来の提供需要、各種必要性については、以下のとおりです。

図表 5-10-2 ソフトの評価結果（保健・福祉施設（その他施設））

施設名称	建物名称	行政サービス 提供需要		現在の 規模 での 必要性	現在の 位置 での 必要性	総合 評価
		現在	将来			
黒潮作業所	住宅 1	やや高い	現状維持	やや高い	やや低い	B
	住宅 2	やや高い	現状維持	やや高い	やや低い	B

（３） 施設ごとの方針

最終的な施設ごとの方針決定にあたっては、第４章２「対策優先順位の考え方」において前述した評価ロジックを基礎として、その他に考慮すべき事項（既に決定されている他の計画や施策における今後の施設方針との整合性等）を総合的に勘案して、方針を決定しています。

図表 5-10-3 施設別の今後の方針（保健・福祉施設（その他施設））

施設名称	建物名称	評価		優先 順位	方針	その他に 考慮した 事項
		ハード	ソフト			
黒潮作業所	住宅 1	B	B	中	存続（総量維持）	
	住宅 2	B	B	中	存続（総量維持）	

1 1 保健・福祉施設（福祉施設）

（１）ハード（施設の老朽化度）の評価結果

保健・福祉施設（福祉施設）の評価結果は、以下のとおりです。

図表 5-11-1 ハードの評価結果（保健・福祉施設（福祉施設））

施設名称	建物名称	建設 年度 (年)	経過 年数 (年)	屋根・ 屋上	外壁・ 外部開口部	内部 仕上	電気 設備	給排水衛生 設備	空調換気 設備	総合 評価
大島町勤労福祉 会館	大島町勤労福祉会 館A棟	1972	50	d	d	b	a	b	b	C
	大島町勤労福祉会 館B棟	1972	50	c	c	b	a	b	b	C
	大島町勤労福祉会 館C棟	1972	50	-	-	-	-	-	-	C
	大島町勤労福祉会 館 自家発電小屋	1972	50	-	-	-	-	-	-	C
クダッチ老人福 祉館	クダッチ老人福祉 館	1978	44	c	b	c	c	c	a	C
波浮港老人福祉 館	波浮港老人福祉館	1973	49	a	c	c	c	c	c	C

(2) ソフト（利用状況・必要性等）による評価結果

保健・福祉施設（福祉施設）の現在、将来の提供需要、各種必要性については、以下のとおりです。

図表 5-11-2 ソフトの評価結果（保健・福祉施設（福祉施設））

施設名称	建物名称	行政サービス 提供需要		現在の 規模 での 必要性	現在の 位置 での 必要性	総合 評価
		現在	将来			
大島町勤労福祉会館	大島町勤労福祉会館A棟	高い	増加	高い	高い	A
	大島町勤労福祉会館B棟	高い	増加	高い	高い	A
	大島町勤労福祉会館C棟	高い	増加	高い	高い	A
	大島町勤労福祉会館 自家発電小屋	高い	増加	高い	高い	A
クダッチ老人福祉館	クダッチ老人福祉館	やや低い	やや減少	やや低い	中	C
波浮港老人福祉館	波浮港老人福祉館	中	現状維持	やや高い	低い	C

(3) 施設ごとの方針

最終的な施設ごとの方針決定にあたっては、第4章2「対策優先順位の考え方」において前述した評価ロジックを基礎として、その他に考慮すべき事項（既に決定されている他の計画や施策における今後の施設方針との整合性等）を総合的に勘案して、方針を決定しています。

図表 5-11-3 施設別の今後の方針（保健・福祉施設（福祉施設））

施設名称	建物名称	評価		優先順位	方針	その他に考慮した事項
		ハード	ソフト			
大島町勤労福祉会館	大島町勤労福祉会館A棟	C	A	中	存続（総量維持）	
	大島町勤労福祉会館B棟	C	A	中	存続（総量維持）	
	大島町勤労福祉会館C棟	C	A	中	存続（総量維持）	
	大島町勤労福祉会館 自家発電小屋	C	A	中	存続（総量維持）	
クダッチ老人福祉館	クダッチ老人福祉館	C	C	高	存続（総量維持）	避難所としての機能を有しており、代替施設がないため
波浮港老人福祉館	波浮港老人福祉館	C	C	高	存続（総量維持）	避難所としての機能を有しており、代替施設がないため

1 2 保健・福祉施設（保健施設）

（１）ハード（施設の老朽化度）の評価結果

保健・福祉施設（保健施設）の評価結果は、以下のとおりです。

図表 5-12-1 ハードの評価結果（保健・福祉施設（保健施設））

施設名称	建物名称	建設 年度 (年)	経過 年数 (年)	屋根・ 屋上	外壁・ 外部開口部	内部 仕上	電気 設備	給排水 衛生設備	空調 換気設備	総合 評価
大島医療センター	大島医療センター	2003	19	a	a	b	a	b	b	B
大島けんこうセンター	大島けんこうセンター	1980	42	b	a	c	a	a	b	C
南部診療所	南部診療所	1985	37	b	b	c	c	c	c	C
南部診療所	南部診療所車庫	1985	37	-	-	-	-	-	-	B

（２）ソフト（利用状況・必要性等）による評価結果

保健・福祉施設（保健施設）の現在、将来の提供需要、各種必要性については、以下のとおりです。

図表 5-12-2 ソフトの評価結果（保健・福祉施設（保健施設））

施設名称	建物名称	行政サービス 提供需要		現在の 規模 での 必要性	現在の 位置 での 必要性	総合 評価
		現在	将来			
大島医療センター	大島医療センター	高い	現状維持	高い	高い	A
大島けんこうセンター	大島けんこうセンター	低い	減少	やや高い	やや低い	C
南部診療所	南部診療所	やや低い	減少	中	中	C

施設名称	建物名称	行政サービス 提供需要		現在の 規模 での 必要性	現在の 位置 での 必要性	総合 評価
		現在	将来			
南部診療所	南部診療所車庫	低い	現状維持	低い	低い	D

(3) 施設ごとの方針

最終的な施設ごとの方針決定にあたっては、第4章2「対策優先順位の考え方」において前述した評価ロジックを基礎として、その他に考慮すべき事項（既に決定されている他の計画や施策における今後の施設方針との整合性等）を総合的に勘案して、方針を決定しています。

図表 5-12-3 施設別の今後の方針（保健・福祉施設（保健施設））

施設名称	建物名称	評価		優先 順位	方針	その他に 考慮した 事項
		ハード	ソフト			
大島医療センター	大島医療センター	B	A	低	存続（総量維持）	
大島けんこうセンター	大島けんこうセンター	C	C	高	存続（総量維持）	
南部診療所	南部診療所	C	C	高	存続（総量維持）	診療所の指定管理先の登記上の住所となっており、変更が困難であって、代替施設がないため
南部診療所	南部診療所車庫	B	D	高	将来的に機能廃止	

13 子育て支援施設（福祉施設）

（１）ハード（施設の老朽化度）の評価結果

子育て支援施設（福祉施設）の評価結果は、以下のとおりです。

図表 5-13-1 ハードの評価結果（子育て支援施設（福祉施設））

施設名称	建物名称	建設 年度 (年)	経過 年数 (年)	屋根・ 屋上	外壁・外部開口部	内部 仕上	電気 設備	給排水衛生 設備	空調換気 設備	総合 評価
みんなの福祉センター	差木地保育園園舎	1970	52	b	b	c	c	c	c	C
	差木地保育園園舎増築 1	1977	45	b	b	c	c	c	c	C
	差木地保育園園舎増築 2	2003	19	-	-	-	-	-	-	B

（２）ソフト（利用状況・必要性等）による評価結果

子育て支援施設（福祉施設）の現在、将来の提供需要、各種必要性については、以下のとおりです。

図表 5-13-2 ソフトの評価結果（子育て支援施設（福祉施設））

施設名称	建物名称	行政サービス 提供需要		現在の 規模 での 必要性	現在の 位置 での 必要性	総合 評価
		現在	将来			
みんなの福祉センター	差木地保育園園舎	やや低い	やや減少	中	中	C
	差木地保育園園舎増築 1	やや低い	やや減少	中	中	C
	差木地保育園園舎増築 2	やや低い	やや減少	中	中	C

(3) 施設ごとの方針

最終的な施設ごとの方針決定にあたっては、第4章2「対策優先順位の考え方」において前述した評価ロジックを基礎として、その他に考慮すべき事項（既に決定されている他の計画や施策における今後の施設方針との整合性等）を総合的に勘案して、方針を決定しています。

図表 5-13-3 施設別の今後の方針（子育て支援施設（福祉施設））

施設名称	建物名称	評価		優先 順位	方針	その他に 考慮した 事項
		ハード	ソフト			
みんなの福祉 センター	差木地保育園 園舎	C	C	高	将来的に機能 廃止	
	差木地保育園 園舎増築 1	C	C	高	将来的に機能 廃止	
	差木地保育園 園舎増築 2	B	C	中	将来的に機能 廃止	

1 4 子育て支援施設（幼保・こども園）

（１）ハード（施設の老朽化度）の評価結果

子育て支援施設（幼保・こども園）の評価結果は、以下のとおりです。

図表 5-14-1 ハードの評価結果（子育て支援施設（幼保・こども園））

施設名称	建物名称	建設 年度 (年)	経過 年数 (年)	屋根・ 屋上	外壁・外部開口部	内部 仕上	電気 設備	給排水衛生 設備	空調換気 設備	総合 評価
元町保育園	元町保育園園舎	2022	0	-	-	-	-	-	-	A
岡田保育園	岡田保育園園舎	1990	32	a	a	b	b	b	a	B
	岡田保育園保育室 等増築	2005	17	a	a	a	b	b	b	B

（２）ソフト（利用状況・必要性等）による評価結果

子育て支援施設（幼保・こども園）の現在、将来の提供需要、各種必要性については、以下のとおりです。

図表 5-14-2 ソフトの評価結果（子育て支援施設（幼保・こども園））

施設名称	建物名称	行政サービス 提供需要		現在の 規模 での 必要性	現在の 位置 での 必要性	総合 評価
		現在	将来			
元町保育園	元町保育園園舎	やや高い	現状維持	高い	高い	A
岡田保育園	岡田保育園園舎	中	減少	低い	やや低い	D
	岡田保育園保育室 等増築	中	減少	低い	やや低い	D

（３） 施設ごとの方針

最終的な施設ごとの方針決定にあたっては、第４章２「対策優先順位の考え方」において前述した評価ロジックを基礎として、その他に考慮すべき事項（既に決定されている他の計画や施策における今後の施設方針との整合性等）を総合的に勘案して、方針を決定しています。

図表 5-14-3 施設別の今後の方針（子育て支援施設（幼保・こども園））

施設名称	建物名称	評価		優先 順位	方針	その他に 考慮した事 項
		ハ ー ド	ソ フ ト			
元町保育園	元町保育園園 舎	A	A	低	存続（総量維 持）	
岡田保育園	岡田保育園園 舎	B	D	高	存続（総量維 持）	今後の運営 については 検討が必要
	岡田保育園保 育室等増築	B	D	高	存続（総量維 持）	

1 5 行政系施設（消防施設）

（１）ハード（施設の老朽化度）の評価結果

行政系施設（消防施設）の評価結果は、以下のとおりです。

図表 5-15-1 ハードの評価結果（行政系施設（消防施設））

施設名称	建物名称	建設 年度 (年)	経過 年数 (年)	屋根・ 屋上	外壁・外部開口部	内部 仕上	電気 設備	給排水衛生 設備	空調換気 設備	総合 評価
消防本部庁舎	消防本部庁舎	2003	19	a	c	b	a	a	a	C
大島町消防団団本部	大島町消防団団本部	2018	4	-	-	-	-	-	-	A
泉津分団	分団詰所（泉津分団）	2007	15	b	b	a	a	b	a	B
岡田分団	分団詰所（岡田分団）	1987	35	a	c	b	b	b	b	C
北の山分団	分団詰所（北の山分団）	2013	9	-	-	-	-	-	-	A
元町分団	分団詰所（元町分団）	1993	29	b	b	b	b	b	b	B
野増分団	分団詰所（野増分団）	2004	18	b	c	b	a	b	b	C
野増分団 3 部	分団詰所（野増分団 3 部）	1995	27	b	b	b	b	b	b	B
差木地分団	分団詰所（差木地分団）	1990	32	-	-	-	-	-	-	B
クダッチ分団	分団詰所（クダッチ分団）	1997	25	b	b	b	b	b	b	B
波浮港分団	分団詰所（波浮港分団）	2009	13	b	b	a	a	a	a	B
岡田分団	器具置場（岡田分団）	1974	48	-	-	-	-	-	-	C

施設名称	建物名称	建設 年度 (年)	経過 年数 (年)	屋根・屋上	外壁・外部開口部	内部 仕上	電気 設備	給排水衛生 設備	空調換気 設備	総合 評価
北の山分団	器具置場（北の山分団）	1987	35	-	-	-	-	-	-	B
差木地分団	器具置場（差木地分団）	1973	49	b	b	b	b	b	b	B
差木地分団	器具置場（差木地分団）	1987	35	a	b	b	b	d	d	C
旧分団詰所（波浮港分団）	旧分団詰所（波浮港分団）	1999	23	-	-	-	-	-	-	B

（２） ソフト（利用状況・必要性等）による評価結果

行政系施設（消防施設）の現在、将来の提供需要、各種必要性については、以下のとおりです。

図表 5-15-2 ソフトの評価結果（行政系施設（消防施設））

施設名称	建物名称	行政サービス 提供需要		現在の 規模 での 必要性	現在の 位置 での 必要性	総合 評価
		現在	将来			
消防本部庁舎	消防本部庁舎	高い	増加	高い	高い	A
大島町消防団 団本部	大島町消防団 本部	中	現状維持	高い	高い	A
泉津分団	分団詰所（泉津分団）	やや高い	やや増加	高い	高い	A
岡田分団	分団詰所（岡田分団）	やや高い	やや増加	高い	やや低い	B
北の山分団	分団詰所（北の山分団）	やや高い	やや増加	高い	高い	A
元町分団	分団詰所（元町分団）	やや高い	やや増加	高い	高い	A

施設名称	建物名称	行政サービス 提供需要		現在の 規模 での 必要性	現在の 位置 での 必要性	総合 評価
		現在	将来			
野増分団	分団詰所（野増分団）	やや高い	やや増加	高い	高い	A
野増分団 3 部	分団詰所（野増分団 3 部）	やや高い	やや増加	高い	高い	A
差木地分団	分団詰所（差木地分団）	やや高い	やや増加	高い	高い	A
クダッチ分団	分団詰所（クダッチ分団）	やや高い	やや増加	高い	高い	A
波浮港分団	分団詰所（波浮港分団）	やや高い	やや増加	高い	高い	A
岡田分団	器具置場（岡田分団）	やや高い	やや増加	高い	高い	A
北の山分団	器具置場（北の山分団）	やや高い	やや増加	高い	高い	A
差木地分団	器具置場（差木地分団）	やや高い	やや増加	高い	高い	A
差木地分団	器具置場（差木地分団）	やや高い	やや増加	高い	高い	A
旧 分 団 詰 所 （ 波 浮 港 分 団 ）	旧分団詰所（波浮港分団）	低い	減少	低い	低い	D

(3) 施設ごとの方針

最終的な施設ごとの方針決定にあたっては、第4章2「対策優先順位の考え方」において前述した評価ロジックを基礎として、その他に考慮すべき事項（既に決定されている他の計画や施策における今後の施設方針との整合性等）を総合的に勘案して、方針を決定しています。

図表 5-15-3 施設別の今後の方針（行政系施設（消防施設））

施設名称	建物名称	評価		優先 順位	方針	その他に 考慮した事 項
		ハ ー ド	ソ フ ト			
消防本部庁舎	消防本部庁舎	C	A	中	存続（総量維持）	
大島町消防団 団本部	大島町消防団 団本部	A	A	低	存続（総量維持）	
泉津分団	分団詰所（泉津 分団）	B	A	低	存続（総量維持）	
岡田分団	分団詰所（岡田 分団）	C	B	中	存続（総量維持）	
北の山分団	分団詰所（北の 山分団）	A	A	低	存続（総量維持）	
元町分団	分団詰所（元町 分団）	B	A	低	存続（総量維持）	
野増分団	分団詰所（野増 分団）	C	A	中	存続（総量維持）	
野増分団 3 部	分団詰所（野増 分団 3 部）	B	A	低	存続（総量維持）	

施設名称	建物名称	評価		優先 順位	方針	その他に 考慮した事 項
		ハード	ソフト			
差木地分団	分団詰所（差木 地分団）	B	A	低	存続（総量維 持）	
クダッチ分団	分団詰所（クダ ッチ分団）	B	A	低	存続（総量維 持）	
波浮港分団	分団詰所（波浮 港分団）	B	A	低	存続（総量維 持）	
岡田分団	器具置場（岡田 分団）	C	A	中	存続（総量維 持）	
北の山分団	器具置場（北の 山分団）	B	A	低	存続（総量維 持）	
差木地分団	器具置場（差木 地分団）	B	A	低	存続（総量維 持）	
差木地分団	器具置場（差木 地分団）	B	A	低	存続（総量維 持）	
旧分団詰所（波 浮港分団）	旧分団詰所（波 浮港分団）	B	D	高	将来的に機能 廃止	

1 6 行政系施設（その他の行政系施設）

（１）ハード（施設の老朽化度）の評価結果

行政系施設（その他の行政系施設）の評価結果は、以下のとおりです。

図表 5-16-1 ハードの評価結果（行政系施設（その他の行政系施設））

施設名称	建物名称	建設 年度 (年)	経過 年数 (年)	屋根・ 屋上	外壁・ 外部開口部	内部 仕上	電気 設備	給排 水衛生 設備	空調 換気 設備	総合 評価
泉津地区防災炊事舎	泉津地区防災炊事舎	2014	8	-	-	-	-	-	-	A
備蓄庫	岡田備蓄庫	1987	35	a	b	b	b	d	d	C
	泉津備蓄庫	1987	35	a	c	b	b	d	d	C
	差木地備蓄庫	1987	35	a	b	b	b	d	d	C

(2) ソフト（利用状況・必要性等）による評価結果

行政系施設（その他の行政系施設）の現在、将来の提供需要、各種必要性については、以下のとおりです。

図表 5-16-2 ソフトの評価結果（行政系施設（その他の行政系施設））

施設名称	建物名称	行政サービス 提供需要		現在の 規模 での 必要性	現在の 位置 での 必要性	総合 評価
		現在	将来			
泉津地区防災 炊事舎	泉津地区防災炊 事舎	低い	やや減 少	低い	低い	D
備蓄庫	岡田備蓄庫	やや低 い	やや減 少	高い	やや高 い	B
	泉津備蓄庫	やや低 い	やや減 少	高い	やや低 い	C
	差木地備蓄庫	やや低 い	やや減 少	高い	高い	B

(3) 施設ごとの方針

最終的な施設ごとの方針決定にあたっては、第4章2「対策優先順位の考え方」において前述した評価ロジックを基礎として、その他に考慮すべき事項（既に決定されている他の計画や施策における今後の施設方針との整合性等）を総合的に勘案して、方針を決定しています。

図表 5-16-3 施設別の今後の方針（行政系施設（その他の行政系施設））

施設名称	建物名称	評価		優先 順位	方針	その他に 考慮した 事項
		ハード	ソフト			
泉津地区防災炊事舎	泉津地区防災炊事舎	A	D	中	存続（総 量維持）	
備蓄庫	岡田備蓄庫	C	B	中	存続（総 量維持）	
	泉津備蓄庫	C	C	高	存続（総 量維持）	
	差木地備蓄庫	C	B	中	存続（総 量維持）	

17 行政系施設（庁舎等）

（１）ハード（施設の老朽化度）の評価結果

行政系施設（庁舎等）の評価結果は、以下のとおりです。

図表 5-17-1 ハードの評価結果（行政系施設（庁舎等））

施設名称	建物名称	建設 年度 (年)	経過 年数 (年)	屋根・屋上	外壁・外部開口部	内部 仕上	電気 設備	給排水衛生 設備	空調換気 設備	総合 評価
大島町役場・開発総合センター	大島町役場・開発総合センター	1983	39	c	c	b	b	b	b	C

（２）ソフト（利用状況・必要性等）による評価結果

行政系施設（庁舎等）の現在、将来の提供需要、各種必要性については、以下のとおりです。

図表 5-17-2 ソフトの評価結果（行政系施設（庁舎等））

施設名称	建物名称	行政サービス 提供需要		現在の 規模 での 必要性	現在の 位置 での 必要性	総合 評価
		現在	将来			
大島町役場・開発総合センター	大島町役場・開発総合センター	高い	現状維持	高い	高い	A

（３） 施設ごとの方針

最終的な施設ごとの方針決定にあたっては、第４章２「対策優先順位の考え方」において前述した評価ロジックを基礎として、その他に考慮すべき事項（既に決定されている他の計画や施策における今後の施設方針との整合性等）を総合的に勘案して、方針を決定しています。

図表 5-17-3 施設別の今後の方針（行政系施設（庁舎等））

施設名称	建物名称	評価		優先 順位	方針	その他に 考慮した 事項
		ハード	ソフト			
大島町役場・開発総合センター	大島町役場・開発総合センター	C	A	中	存続（総量増加）	

18 行政系施設（駐車場）

（１）ハード（施設の老朽化度）の評価結果

行政系施設（駐車場）の評価結果は、以下のとおりです。

図表 5-18-1 ハードの評価結果（行政系施設（駐車場））

施設名称	建物名称	建設 年度 (年)	経過 年数 (年)	屋根・ 屋上	外壁・外部開口部	内部 仕上	電気 設備	給排水衛生 設備	空調換気 設備	総合 評価
公共駐車場・多 目的広場	駐車場	2010	12	a	-	a	a	a	-	A

（２）ソフト（利用状況・必要性等）による評価結果

レクリエーション・観光系施設（観光系施設）の現在、将来の提供需要、各種必要性については、以下のとおりです。

図表 5-18-2 ソフトの評価結果（行政系施設（駐車場））

施設名称	建物名称	行政サービス 提供需要		現在の 規模 での 必要性	現在の 位置 での 必要性	総合 評価
		現在	将来			
公共駐車場・ 多目的広場	駐車場	高い	現状維持	高い	高い	A

（３） 施設ごとの方針

最終的な施設ごとの方針決定にあたっては、第４章２「対策優先順位の考え方」において前述した評価ロジックを基礎として、その他に考慮すべき事項（既に決定されている他の計画や施策における今後の施設方針との整合性等）を総合的に勘案して、方針を決定しています。

図表 5-18-3 施設別の今後の方針（行政系施設（駐車場））

施設名称	建物名称	評価		優先 順位	方針	その他に 考慮した 事項
		ハード	ソフト			
公共駐車場・多 目的広場	駐車場	A	A	低	存続（総量増 加）	

19 供給処理施設（供給処理施設）

（１）ハード（施設の老朽化度）の評価結果

供給処理施設（供給処理施設）の評価結果は、以下のとおりです。

図表 5-19-1 ハードの評価結果（供給処理施設（供給処理施設））

施設名称	建物名称	建設 年度 (年)	経過 年数 (年)	屋根・ 屋上	外壁・ 外部開口部	内部 仕上	電気 設備	給排水 衛生設備	空調 換気設備	総合 評価
大島町資源ストックヤード	大島町資源ストックヤード	2018	4	-	-	-	-	-	-	A

（２）ソフト（利用状況・必要性等）による評価結果

供給処理施設（供給処理施設）の現在、将来の提供需要、各種必要性については、以下のとおりです。

図表 5-19-2 ソフトの評価結果（供給処理施設（供給処理施設））

施設名称	建物名称	行政サービス 提供需要		現在の 規模 での 必要性	現在の 位置 での 必要性	総合 評価
		現在	将来			
大島町資源ストックヤード	大島町資源ストックヤード	高い	増加	高い	高い	A

（３） 施設ごとの方針

最終的な施設ごとの方針決定にあたっては、第４章２「対策優先順位の考え方」において前述した評価ロジックを基礎として、その他に考慮すべき事項（既に決定されている他の計画や施策における今後の施設方針との整合性等）を総合的に勘案して、方針を決定しています。

図表 5-19-3 施設別の今後の方針（供給処理施設（供給処理施設））

施設名称	建物名称	評価		優先 順位	方針	その他に 考慮した 事項
		ハード	ソフト			
大島町資源ストックヤード	大島町資源ストックヤード	A	A	低	存続（総量維持）	

20 その他施設（公園）

（１）ハード（施設の老朽化度）の評価結果

その他施設（公園）の評価結果は、以下のとおりです。

図表 5-20-1 ハードの評価結果（その他施設（公園））

施設名称	建物名称	建設 年度 (年)	経過 年数 (年)	屋根・ 屋上	外壁・ 外部開口部	内部 仕上	電気 設備	給排 水衛生 設備	空調 換気 設備	総合 評価
差木地みんなの 広場	差木地みんなの広 場公衆便所	1998	24	-	-	-	-	-	-	B
吉谷公園	吉谷公園公衆便所	1992	30	-	-	-	-	-	-	B
大島町メモリアル公園	管理棟	2021	1	-	-	-	-	-	-	A
	ステージ	2021	1	-	-	-	-	-	-	A
	公衆便所	2021	1	-	-	-	-	-	-	A
椿公園	椿公園 体験棟	1994	28	b	a	b	a	b	a	B
	椿公園 便所棟	1994	28	-	-	-	-	-	-	B

(2) ソフト（利用状況・必要性等）による評価結果

その他施設（公園）の現在、将来の提供需要、各種必要性については、以下のとおりです。

図表 5-20-2 ソフトの評価結果（その他施設（公園））

施設名称	建物名称	行政サービス 提供需要		現在の 規模 での 必要性	現在の 位置 での 必要性	総合 評価
		現在	将来			
差木地みんなの広場	差木地みんなの広場公衆便所	低い	増加	中	中	B
吉谷公園	吉谷公園公衆便所	中	現状維持	やや高い	高い	B
大島町メモリアル公園	管理棟	中	現状維持	中	高い	B
	ステージ	やや低い	やや減少	高い	やや高い	B
	公衆便所	中	現状維持	高い	高い	A
椿公園	椿公園 体験棟	中	増加	中	やや高い	B
	椿公園 便所棟	中	現状維持	中	中	B

(3) 施設ごとの方針

最終的な施設ごとの方針決定にあたっては、第4章2「対策優先順位の考え方」において前述した評価ロジックを基礎として、その他に考慮すべき事項（既に決定されている他の計画や施策における今後の施設方針との整合性等）を総合的に勘案して、方針を決定しています。

図表 5-20-3 施設別の今後の方針（その他施設（公園））

施設名称	建物名称	評価		優先順位	方針	その他に考慮した事項
		ハード	ソフト			
差木地みんなの広場	差木地みんなの広場公衆便所	B	B	中	存続（総量維持）	
吉谷公園	吉谷公園公衆便所	B	B	中	存続（総量維持）	
大島町メモリアル公園	管理棟	A	B	低	存続（総量維持）	
	ステージ	A	B	低	存続（総量維持）	
	公衆便所	A	A	低	存続（総量維持）	
椿公園	椿公園 体験棟	B	B	中	将来的に民間譲渡	
	椿公園 便所棟	B	B	中	将来的に民間譲渡	

21 その他施設（公衆トイレ）

（１）ハード（施設の老朽化度）の評価結果

その他施設（公衆トイレ）の評価結果は、以下のとおりです。

図表 5-21-1 ハードの評価結果（その他施設（公衆トイレ））

施設名称	建物名称	建設 年度 (年)	経過 年数 (年)	屋根・屋上	外壁・外部開口部	内部 仕上	電気 設備	給排水衛生 設備	空調換気 設備	総合 評価
岡田福聚寺 横公衆便所	岡田福聚寺横公衆便所	1995	27	-	-	-	-	-	-	B
元町墓地横 公衆便所	元町墓地横公衆便所	2013	9	-	-	-	-	-	-	A
北の山公衆 便所	北の山公衆便所	1997	25	-	-	-	-	-	-	B
北の山墓地 公衆便所	北の山墓地公衆便所	1999	23	-	-	-	-	-	-	B
万立浜公衆 便所	万立浜公衆便所	1991	31	-	-	-	-	-	-	B
波浮港西岸 公衆便所	波浮港西岸公衆便所	1987	35	-	-	-	-	-	-	B
差木地フナ ワ公衆便所	差木地フナワ公衆便所	1997	25	-	-	-	-	-	-	B
波浮港中央 公衆便所	波浮港中央公衆便所	1996	26	-	-	-	-	-	-	B
波浮港墓地 公衆便所	波浮港墓地公衆便所	2008	14	-	-	-	-	-	-	B
波浮港見晴 台公衆便所	波浮港見晴台公衆便所	1991	31	-	-	-	-	-	-	B
差木地墓地 公衆便所	差木地墓地公衆便所	2017	5	-	-	-	-	-	-	A

(2) ソフト（利用状況・必要性等）による評価結果

その他施設（公衆トイレ）の現在、将来の提供需要、各種必要性については、以下のとおりです。

図表 5-21-2 ソフトの評価結果（その他施設（公衆トイレ））

施設名称	建物名称	行政サービス 提供需要		現在の 規模 での 必要性	現在の 位置 での 必要性	総合 評価
		現在	将来			
岡田福聚寺横 公衆便所	岡田福聚寺横公 衆便所	高い	現状維 持	高い	高い	A
元町墓地横公 衆便所	元町墓地横公衆 便所	高い	現状維 持	高い	高い	A
北の山公衆便 所	北の山公衆便所	高い	現状維 持	高い	高い	A
北の山墓地公 衆便所	北の山墓地公衆 便所	高い	現状維 持	高い	高い	A
万立浜公衆便 所	万立浜公衆便所	高い	現状維 持	高い	高い	A
波浮港西岸公 衆便所	波浮港西岸公衆 便所	高い	現状維 持	高い	高い	A
差木地フナワ 公衆便所	差木地フナワ公 衆便所	高い	現状維 持	高い	高い	A
波浮港中央公 衆便所	波浮港中央公衆 便所	高い	現状維 持	高い	高い	A
波浮港墓地公 衆便所	波浮港墓地公衆 便所	高い	現状維 持	高い	高い	A
波浮港見晴台 公衆便所	波浮港見晴台公 衆便所	高い	現状維 持	高い	高い	A
差木地墓地公 衆便所	差木地墓地公衆 便所	高い	現状維 持	高い	高い	A

(3) 施設ごとの方針

最終的な施設ごとの方針決定にあたっては、第4章2「対策優先順位の考え方」において前述した評価ロジックを基礎として、その他に考慮すべき事項（既に決定されている他の計画や施策における今後の施設方針との整合性等）を総合的に勘案して、方針を決定しています。

図表 5-21-3 施設別の今後の方針（その他施設（公衆トイレ））

施設名称	建物名称	評価		優先 順位	方針	その他に 考慮した 事項
		ハード	ソフト			
岡田福聚寺横 公衆便所	岡田 福 聚 寺 横 公衆便所	B	A	低	存続（総量維持）	
元町墓地横公 衆便所	元町 墓 地 横 公 衆便所	A	A	低	存続（総量維持）	
北の山公衆便 所	北の山公衆便 所	B	A	低	存続（総量維持）	
北の山墓地公 衆便所	北の山 墓 地 公 衆便所	B	A	低	存続（総量維持）	
万立浜公衆便 所	万立浜公衆便 所	B	A	低	存続（総量維持）	
波浮港西岸公 衆便所	波浮港西岸公 衆便所	B	A	低	存続（総量維持）	
差木地フナワ 公衆便所	差木地フナワ 公衆便所	B	A	低	存続（総量維持）	
波浮港中央公 衆便所	波浮港中央公 衆便所	B	A	低	存続（総量維持）	

施設名称	建物名称	評価		優先 順位	方針	その他に 考慮した 事項
		ハード	ソフト			
波浮港墓地公衆便所	波浮港墓地公衆便所	B	A	低	存続（総量維持）	
波浮港見晴台公衆便所	波浮港見晴台公衆便所	B	A	低	存続（総量維持）	
差木地墓地公衆便所	差木地墓地公衆便所	A	A	低	存続（総量維持）	

22 その他施設（その他施設）

（１）ハード（施設の老朽化度）の評価結果

その他施設（その他施設）の評価結果は、以下のとおりです。

図表 5-22-1 ハードの評価結果（その他施設（その他施設））

施設名称	建物名称	建設 年度 (年)	経過 年数 (年)	屋根・屋上	外壁・外部開口部	内部 仕上	電気 設備	給排水衛生 設備	空調換気 設備	総合 評価
医師住宅	医師住宅	2010	12	a	a	a	a	b	a	B
火葬場	火葬場	2001	21	c	b	b	b	b	a	C
	火葬場家族控室	2001	21	a	a	b	b	b	a	B
	火葬場待合室	2002	20	b	a	b	a	a	b	B
旧込内文化 会館	旧込内文化会館	1972	50	c	c	c	c	c	c	C
旧子供家庭 支援センタ ー	旧子供家庭支援センタ ー	1972	50	b	c	c	c	c	c	C
退避壕(温泉 ホテル)	退避壕(温泉ホテル)	1987	35	b	a	b	-	-	-	B
退避壕(筆島)	退避壕(筆島)	1987	35	b	a	b	-	-	-	B
退避壕(都道 裏砂漠入口)	退避壕(都道 裏砂漠入 口)	1987	35	-	-	-	-	-	-	B
退避壕(三原 山遊歩道)	退避壕(三原山遊歩道)	1987	35	-	-	-	-	-	-	B
	退避壕(三原山遊歩道)	1987	35	-	-	-	-	-	-	B
	退避壕(三原山遊歩道)	1987	35	-	-	-	-	-	-	B
	退避壕(三原山遊歩道)	1987	35	-	-	-	-	-	-	B
	退避壕(三原山遊歩道)	1987	35	-	-	-	-	-	-	B
	退避壕(三原山遊歩道)	1987	35	-	-	-	-	-	-	B
退避壕(差木 地地区)	退避壕(差木地地区)	1987	35	-	-	-	-	-	-	B
	退避壕(差木地地区)	1987	35	-	-	-	-	-	-	B
	退避壕(差木地地区)	1987	35	-	-	-	-	-	-	B

施設名称	建物名称	建設 年度 (年)	経過 年数 (年)	屋根・屋上	外壁・外部開口部	内部仕上	電気設備	給排水衛生設備	空調換気設備	総合評価
退避壕 (1986年割れ目噴火口)	退避壕(1986年割れ目噴火口)	1987	35	-	-	-	-	-	-	B
退避壕(陸上競技場)	退避壕(陸上競技場)	1987	35	-	-	-	-	-	-	B
旧泉津診療所	旧泉津診療所	不明	-	a	b	b	b	b	a	B
旧差木地村役場	旧差木地村役場	不明	-	c	c	c	c	c	-	C

(2) ソフト（利用状況・必要性等）による評価結果

その他施設（その他施設）の現在、将来の提供需要、各種必要性については、以下のとおりです。

図表 5-22-2 ソフトの評価結果（その他施設（その他施設））

施設名称	建物名称	行政サービス 提供需要		現在の 規模 での 必要性	現在の 位置 での 必要性	総合 評価
		現在	将来			
医師住宅	医師住宅	高い	現状維持	高い	高い	A
火葬場	火葬場	高い	増加	高い	高い	A
	火葬場家族控室	高い	増加	高い	高い	A
	火葬場待合室	高い	増加	高い	高い	A
旧込内文化会館	旧込内文化会館	高い	やや減少	中	高い	B
旧子供家庭支援センター	旧子供家庭支援センター	高い	やや減少	中	高い	B
退避壕(温泉ホテル)	退避壕(温泉ホテル)	やや低い	やや減少	高い	高い	B
退避壕(筆島)	退避壕(筆島)	やや低い	やや減少	中	やや低い	C
退避壕(都道裏砂漠入口)	退避壕(都道裏砂漠入口)	やや低い	やや減少	高い	高い	B
退避壕(三原山遊歩道)	退避壕(三原山遊歩道)	やや低い	やや減少	高い	高い	B
	退避壕(三原山遊歩道)	やや低い	やや減少	高い	高い	B
	退避壕(三原山遊歩道)	やや低い	やや減少	高い	高い	B
	退避壕(三原山遊歩道)	やや低い	やや減少	高い	高い	B
	退避壕(三原山遊歩道)	やや低い	やや減少	高い	高い	B
	退避壕(三原山遊歩道)	やや低い	やや減少	高い	高い	B

施設名称	建物名称	行政サービス 提供需要		現在の 規模 での 必要性	現在の 位置 での 必要性	総合 評価
		現在	将来			
退避壕(差木地地区)	退避壕(差木地地区)	やや低い	やや減少	低い	低い	D
	退避壕(差木地地区)	やや低い	やや減少	低い	低い	D
	退避壕(差木地地区)	やや低い	やや減少	低い	低い	D
退避壕(1986年割れ目噴火口)	退避壕(1986年割れ目噴火口)	やや低い	やや減少	中	中	C
退避壕(陸上競技場)	退避壕(陸上競技場)	やや低い	やや減少	やや低い	やや低い	C
旧泉津診療所	旧泉津診療所	中	やや減少	低い	低い	D
旧差木地村役場	旧差木地村役場	高い	やや減少	高い	高い	A

(3) 施設ごとの方針

最終的な施設ごとの方針決定にあたっては、第4章2「対策優先順位の考え方」において前述した評価ロジックを基礎として、その他に考慮すべき事項（既に決定されている他の計画や施策における今後の施設方針との整合性等）を総合的に勘案して、方針を決定しています。

図表 5-22-3 施設別の今後の方針（その他施設（その他施設））

施設名称	建物名称	評価		優先 順位	方針	その他に 考慮した 事項
		ハード	ソフト			
医師住宅	医師住宅	B	A	低	存続（総量維持）	
火葬場	火葬場	C	A	中	存続（総量維持）	
	火葬場家族控室	B	A	低	存続（総量維持）	
	火葬場待合室	B	A	低	存続（総量維持）	
旧込内文化会館	旧込内文化会館	C	B	中	存続（総量維持）	
旧子供家庭支援センター	旧子供家庭支援センター	C	B	中	存続（総量維持）	
退避壕(温泉ホテル)	退避壕(温泉ホテル)	B	B	中	存続（総量維持）	
退避壕(筆島)	退避壕(筆島)	B	C	中	将来的に機能 廃止	

施設名称	建物名称	評価		優先 順位	方針	その他に 考慮した 事項
		ハード	ソフト			
退避壕(都道 裏砂漠入口)	退 避 壕 (都 道 裏砂漠入口)	B	B	中	存続（総量維 持）	
退避壕(三原山 遊歩道)	退避壕(三原山 遊歩道)	B	B	中	存続（総量維 持）	
	退避壕(三原山 遊歩道)	B	B	中	存続（総量維 持）	
	退避壕(三原山 遊歩道)	B	B	中	存続（総量維 持）	
	退避壕(三原山 遊歩道)	B	B	中	存続（総量維 持）	
	退避壕(三原山 遊歩道)	B	B	中	存続（総量維 持）	
	退避壕(三原山 遊歩道)	B	B	中	存続（総量維 持）	
退避壕(差木地 地区)	退避壕(差木地 地区)	B	D	高	将来的に機能 廃止	
	退避壕(差木地 地区)	B	D	高	将来的に機能 廃止	
	退避壕(差木地 地区)	B	D	高	将来的に機能 廃止	

施設名称	建物名称	評価		優先 順位	方針	その他に 考慮した 事項
		ハード	ソフト			
退避壕(1986 年割れ目噴火 口)	退避壕(1986 年割れ目噴火 口)	B	C	中	将来的に機能 廃止	
退避壕(陸上競 技場)	退避壕(陸上競 技場)	B	C	中	将来的に機能 廃止	
旧泉津診療所	旧泉津診療所	B	D	高	存続（総量維 持）	
旧差木地村役 場	旧差木地村役 場	C	A	中	存続（総量維 持）	

23 水道施設（監視施設）

（１）ハード（施設の老朽化度）の評価結果

水道施設（監視施設）の評価結果は、以下のとおりです。

図表 5-23-1 ハードの評価結果（水道施設（監視施設））

施設名称	建物名称	建設 年度 (年)	経過 年数 (年)	屋根・屋上	外壁・外部開口部	内部 仕上	電気 設備	給排水衛生 設備	空調換気 設備	総合 評価
元町中央監視室	元町遠方監視所	2016	6	-	-	-	-	-	-	A

（２）ソフト（利用状況・必要性等）による評価結果

水道施設（監視施設）の現在、将来の提供需要、各種必要性については、以下のとおりです。

図表 5-23-2 ソフトの評価結果（水道施設（監視施設））

施設名称	建物名称	行政サービス 提供需要		現在の 規模 での 必要性	現在の 位置 での 必要性	総合 評価
		現在	将来			
元町中央監視室	元町遠方監視所	高い	現状維持	高い	高い	A

（３） 施設ごとの方針

最終的な施設ごとの方針決定にあたっては、第４章２「対策優先順位の考え方」において前述した評価ロジックを基礎として、その他に考慮すべき事項（既に決定されている他の計画や施策における今後の施設方針との整合性等）を総合的に勘案して、方針を決定しています。

図表 5-23-3 施設別の今後の方針（水道施設（監視施設））

施設名称	建物名称	評価		優先 順位	方針	その他に 考慮した 事項
		ハード	ソフト			
元町中央監視 室	元町遠方監視 所	A	A	低	存続（総量維持）	

24 水道施設（取水施設）

（１）ハード（施設の老朽化度）の評価結果

水道施設（取水施設）の評価結果は、以下のとおりです。

図表 5-24-1 ハードの評価結果（水道施設（取水施設））

施設名称	建物名称	建設 年度 (年)	経過 年数 (年)	屋根・屋上	外壁・外部開口部	内部 仕上	電気 設備	給排水衛生 設備	空調換気 設備	総合 評価
岡田 9 号井	岡田 9 号井ポンプ室	不明	-	-	-	-	-	-	-	C
岡田 7 号井	岡田第 7 さく井ポンプ 室	2001	21	-	-	-	-	-	-	B
岡田 7 号井 自家発電室	岡田第 7 自家発電電気室	1983	39	-	-	-	-	-	-	B
岡田 10 号 井	岡田 10 号井ポンプ室	2021	1	-	-	-	-	-	-	A
岡田 8 号井	岡田第 8 さく井ポンプ 室	2002	20	-	-	-	-	-	-	B
岡田 6 号井	岡田第 6 さく井ポンプ 室	2021	1	-	-	-	-	-	-	A
北の山 1 号 井	北の山 1 号井ポンプ室	1992	30	-	-	-	-	-	-	B
北の山 2 号 井	仲中さく井ポンプ室	1987	35	-	-	-	-	-	-	B
筆島水源	筆島水源発電室	不明	-	-	-	-	-	-	-	C
大滝第 2 水 源	大滝第 2 さく井ポンプ 室	1992	30	-	-	-	-	-	-	B

(2) ソフト（利用状況・必要性等）による評価結果

水道施設（取水施設）の現在、将来の提供需要、各種必要性については、以下のとおりです。

図表 5-24-2 ソフトの評価結果（水道施設（取水施設））

施設名称	建物名称	行政サービス 提供需要		現在の 規模 での 必要性	現在の 位置 での 必要性	総合 評価
		現在	将来			
岡田 9 号井	岡田 9 号井ポン プ室	高い	現状維 持	高い	高い	A
岡田 7 号井	岡田第 7 さく井 ポンプ室	高い	現状維 持	高い	高い	A
岡田 7 号井自 家発電室	岡田第 7 自家発 電気室	低い	減少	低い	低い	D
岡田 10 号井	岡田 10 号井ポ ンプ室	高い	現状維 持	高い	高い	A
岡田 8 号井	岡田第 8 さく井 ポンプ室	高い	現状維 持	高い	高い	A
岡田 6 号井	岡田第 6 さく井 ポンプ室	高い	現状維 持	高い	高い	A
北の山 1 号井	北の山 1 号井ポ ンプ室	低い	減少	低い	低い	D
北の山 2 号井	仲中さく井ポン プ室	高い	現状維 持	高い	高い	A
筆島水源	筆島水源発電室	低い	減少	やや低 い	高い	C
大滝第 2 水源	大滝第 2 さく井 ポンプ室	高い	現状維 持	高い	高い	A

(3) 施設ごとの方針

最終的な施設ごとの方針決定にあたっては、第4章2「対策優先順位の考え方」において前述した評価ロジックを基礎として、その他に考慮すべき事項（既に決定されている他の計画や施策における今後の施設方針との整合性等）を総合的に勘案して、方針を決定しています。

図表 5-24-3 施設別の今後の方針（水道施設（取水施設））

施設名称	建物名称	評価		優先 順位	方針	その他に 考慮した 事項
		ハード	ソフト			
岡田 9 号井	岡田 9 号井 ポンプ室	C	A	中	存続（総量維持）	
岡田 7 号井	岡田 第 7 さく井ポンプ室	B	A	低	存続（総量維持）	
岡田 7 号井自家発電室	岡田 第 7 自家発電電気室	B	D	高	将来的に機能廃止	
岡田 10 号井	岡田 1 0 号井 ポンプ室	A	A	低	存続（総量維持）	
岡田 8 号井	岡田 第 8 さく井ポンプ室	B	A	低	存続（総量維持）	
岡田 6 号井	岡田 第 6 さく井ポンプ室	A	A	低	存続（総量維持）	
北の山 1 号井	北の山 1 号井 ポンプ室	B	D	高	将来的に機能廃止	
北の山 2 号井	仲中さく井 ポンプ室	B	A	低	存続（総量維持）	

施設名称	建物名称	評価		優先 順位	方針	その他に 考慮した 事項
		ハード	ソフト			
筆島水源	筆島水源発電室	C	C	高	将来的に機能 廃止	
大滝第2水源	大滝第2さく井ポンプ室	B	A	低	存続（総量維持）	

25 水道施設（浄水施設）

（１）ハード（施設の老朽化度）の評価結果

水道施設（浄水施設）の評価結果は、以下のとおりです。

図表 5-25-1 ハードの評価結果（水道施設（浄水施設））

施設名称	建物名称	建設 年度 (年)	経過 年数 (年)	屋根・屋上	外壁・外部開口部	内部 仕上	電気 設備	給排水衛生 設備	空調換気 設備	総合 評価
岡田集合井	岡田集合井電気計装室	2004	18	-	-	-	-	-	-	B
北の山浄水場	北の山浄水場	1990	32	b	b	b	a	b	a	B
南部浄水場	南部浄水場	2018	4	-	-	-	-	-	-	A
泉津浄水場	泉津配水池自家発電機室	2021	1	-	-	-	-	-	-	A

(2) ソフト（利用状況・必要性等）による評価結果

水道施設（浄水施設）の現在、将来の提供需要、各種必要性については、以下のとおりです。

図表 5-25-2 ソフトの評価結果（水道施設（浄水施設））

施設名称	建物名称	行政サービス 提供需要		現在の 規模 での 必要性	現在の 位置 での 必要性	総合 評価
		現在	将来			
岡田集合井	岡田集合井電気 計装室	高い	現状維持	高い	高い	A
北の山浄水場	北の山浄水場	高い	現状維持	低い	低い	C
南部浄水場	南部浄水場	高い	現状維持	高い	高い	A
泉津浄水場	泉津配水池自家 発電機室	高い	現状維持	高い	高い	A

(3) 施設ごとの方針

最終的な施設ごとの方針決定にあたっては、第4章2「対策優先順位の考え方」において前述した評価ロジックを基礎として、その他に考慮すべき事項（既に決定されている他の計画や施策における今後の施設方針との整合性等）を総合的に勘案して、方針を決定しています。

図表 5-25-3 施設別の今後の方針（水道施設（浄水施設））

施設名称	建物名称	評価		優先 順位	方針	その他に 考慮した 事項
		ハード	ソフト			
岡田集合井	岡田集合井電気計装室	B	A	低	存続（総量維持）	
北の山浄水場	北の山浄水場	B	C	中	存続（総量維持）	
南部浄水場	南部浄水場	A	A	低	存続（総量維持）	
泉津浄水場	泉津配水池自家発電機室	A	A	低	存続（総量維持）	

26 水道施設（送水施設）

（１）ハード（施設の老朽化度）の評価結果

水道施設（送水施設）の評価結果は、以下のとおりです。

図表 5-26-1 ハードの評価結果（水道施設（送水施設））

施設名称	建物名称	建設 年度 (年)	経過 年数 (年)	屋根・屋上	外壁・外部開口部	内部 仕上	電気 設備	給排水衛生 設備	空調換気 設備	総合 評価
高々区増圧 ポンプ場	高々区増圧ポンプ室	1998	24	-	-	-	-	-	-	B
間伏増圧ポ ンプ場	間伏増圧ポンプ室	1985	37	-	-	-	-	-	-	B
間伏増圧ポ ンプ場	間伏電気計装室	1985	37	-	-	-	-	-	-	B
野増調整池	野増調整池	1981	41	-	-	-	-	-	-	C

(2) ソフト（利用状況・必要性等）による評価結果

水道施設（送水施設）の現在、将来の提供需要、各種必要性については、以下のとおりです。

図表 5-26-2 ソフトの評価結果（水道施設（送水施設））

施設名称	建物名称	行政サービス 提供需要		現在の 規模 での 必要性	現在の 位置 での 必要性	総合 評価
		現在	将来			
高々区増圧ポンプ場	高々区増圧ポンプ室	高い	現状維持	高い	高い	A
間伏増圧ポンプ場	間伏増圧ポンプ室	高い	現状維持	高い	高い	A
間伏増圧ポンプ場	間伏電気計装室	高い	現状維持	高い	高い	A
野増調整池	野増調整池	高い	現状維持	高い	高い	A

(3) 施設ごとの方針

最終的な施設ごとの方針決定にあたっては、第4章2「対策優先順位の考え方」において前述した評価ロジックを基礎として、その他に考慮すべき事項（既に決定されている他の計画や施策における今後の施設方針との整合性等）を総合的に勘案して、方針を決定しています。

図表 5-26-3 施設別の今後の方針（水道施設（送水施設））

施設名称	建物名称	評価		優先 順位	方針	その他に 考慮した 事項
		ハード	ソフト			
高々区増圧ポンプ場	高々区増圧ポンプ室	B	A	低	存続（総量維持）	
間伏増圧ポンプ場	間伏増圧ポンプ室	B	A	低	存続（総量維持）	
間伏増圧ポンプ場	間伏電気計装室	B	A	低	存続（総量維持）	
野増調整池	野増調整池	C	A	中	存続（総量維持）	

27 水道施設（電気計装施設）

（１）ハード（施設の老朽化度）の評価結果

水道施設（電気計装施設）の評価結果は、以下のとおりです。

図表 5-27-1 ハードの評価結果（水道施設（電気計装施設））

施設名称	建物名称	建設 年度 (年)	経過 年数 (年)	屋根・屋上	外壁・外部開口部	内部 仕上	電気 設備	給排 水衛生 設備	空調 換気 設備	総合 評価
仲中電気室	仲中電気計装室	1990	32	-	-	-	-	-	-	B

（２）ソフト（利用状況・必要性等）による評価結果

水道施設（電気計装施設）の現在、将来の提供需要、各種必要性については、以下のとおりです。

図表 5-27-2 ソフトの評価結果（水道施設（電気計装施設））

施設名称	建物名称	行政サービス 提供需要		現在の 規模 での 必要性	現在の 位置 での 必要性	総合 評価
		現在	将来			
仲中電気室	仲中電気計装室	高い	現状維持	やや低い	やや低い	B

(3) 施設ごとの方針

最終的な施設ごとの方針決定にあたっては、第4章2「対策優先順位の考え方」において前述した評価ロジックを基礎として、その他に考慮すべき事項（既に決定されている他の計画や施策における今後の施設方針との整合性等）を総合的に勘案して、方針を決定しています。

図表 5-27-3 施設別の今後の方針（水道施設（電気計装施設））

施設名称	建物名称	評価		優先 順位	方針	その他に 考慮した 事項
		ハード	ソフト			
仲中電気室	仲中電気計装室	B	B	中	将来的に機能 移管	

28 水道施設（配水施設）

（１）ハード（施設の老朽化度）の評価結果

水道施設（配水施設）の評価結果は、以下のとおりです。

図表 5-28-1 ハードの評価結果（水道施設（配水施設））

施設名称	建物名称	建設 年度 (年)	経過 年数 (年)	屋根・屋上	外壁・外部開口部	内部 仕上	電気 設備	給排水衛生 設備	空調換気 設備	総合 評価
家の上第1配水池	元町浄水場	1969	53	b	b	c	-	c	-	C
家の上第3配水池	元町浄水場	1976	46	c	c	c	-	c	-	C
波浮港配水池	電気計装室	1954	68	-	-	-	-	-	-	C

（２）ソフト（利用状況・必要性等）による評価結果

水道施設（配水施設）の現在、将来の提供需要、各種必要性については、以下のとおりです。

図表 5-28-2 ソフトの評価結果（水道施設（配水施設））

施設名称	建物名称	行政サービス 提供需要		現在の 規模 での 必要性	現在の 位置 での 必要性	総合 評価
		現在	将来			
家の上第1配水池	元町浄水場	高い	現状維持	高い	高い	A
家の上第3配水池	元町浄水場	高い	現状維持	高い	高い	A
波浮港配水池	電気計装室	高い	やや減少	やや低い	やや低い	C

（３） 施設ごとの方針

最終的な施設ごとの方針決定にあたっては、第４章２「対策優先順位の考え方」において前述した評価ロジックを基礎として、その他に考慮すべき事項（既に決定されている他の計画や施策における今後の施設方針との整合性等）を総合的に勘案して、方針を決定しています。

図表 5-28-3 施設別の今後の方針（水道施設（配水施設））

施設名称	建物名称	評価		優先 順位	方針	その他に 考慮した 事項
		ハード	ソフト			
家の上第１配水池	元町浄水場	C	A	中	存続（統合・複合化・多機能化）	
家の上第３配水池	元町浄水場	C	A	中	存続（統合・複合化・多機能化）	
波浮港配水池	電気計装室	C	C	高	将来的に機能移管	

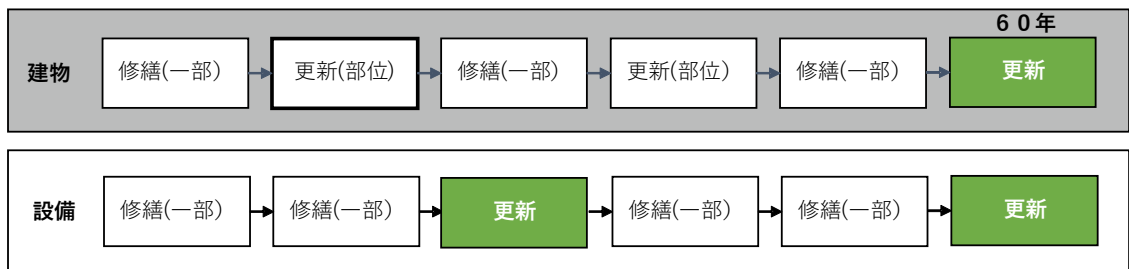
第6章 保全計画工程及び更新等費用

1 保全計画工程及び更新等費用試算の前提条件

(1) 基本的な考え方

- 建物部位（屋根・外部）及び設備の計画的な修繕や更新により、長寿命化を図ります。

図表 6-1-1 公共施設の更新に対する基本的な考え方



- 建物（躯体）については、公共施設の大分類ごとに、更新年数経過後に現在と同じ延床面積で更新すると仮定し、延床面積に更新単価を乗じることにより、更新費用を試算しています。なお、施設ごとに建替え及び大規模改修の要否を判定し、建替え及び大規模改修が必要とされる場合には上記のとおり更新費用を試算します。
- 建物部位及び設備については、建物（躯体）と同様に延床面積に更新単価を乗じることにより、更新費用を試算します。

（２）更新周期

- 日本建築学会「建築物の耐久計画に関する考え方」では、鉄筋コンクリート、鉄骨鉄筋コンクリート、鉄骨及びブロックの目標耐用年数は 60 年となっています。本町の建物（躯体）の構造はこれらに該当するものが大部分を占めるため、建物（躯体）の更新周期を 60 年と設定します。
- 大規模改修については、建物（躯体）の目標耐用年数の 1/2 である 30 年を更新周期として設定します。
- 建物部位及び設備の更新周期は、以下の「建築物のライフサイクルコスト（平成 17 年版国土交通省）」の周期を参考に下記のとおり設定します。

図表 6-1-2-1 建物部位及び設備の更新周期

区分	更新周期（年）	
	更新	改修
屋根	20	5
外部	15	-
受変電	25	5
通信・情報	-	6
空調	15	-
給排水衛生	15	5
消火	30	15
昇降機	30	-

(3) 更新単価

- 建物（躯体）の更新単価は、公共施設更新費用試算ソフトの初期設定値（全国標準単価）に大島の離島工事費指数（国土交通省：平成 29（2017）年度新営予算単価）117 を乗じることにより算定しています。

図表 6-1-3-1 建物（躯体）の更新単価

（円/㎡・年）

大分類	更新単価	
	更新	大規模改修
町民文化系施設	470,000	290,000
社会教育系施設	470,000	290,000
行政系施設	470,000	290,000
レクリエーション・観光系施設	420,000	230,000
学校教育系施設	390,000	200,000
子育て支援施設	390,000	200,000
町営住宅	330,000	200,000
保健・福祉施設	420,000	230,000
産業系施設	470,000	290,000
供給処理施設	420,000	230,000
その他施設（水道）	420,000	230,000
その他施設（公園）	390,000	200,000
その他施設	420,000	230,000

- 建物部位及び設備の更新単価は、以下の「建築物のライフサイクルコスト（平成 17 年版国土交通省）」の「表 3-2-48 建築の修繕コスト（概算/学校_Case3）」及び「表 3-2-49 電気設備の修繕コスト」の平均値に物価変動等を考慮して、建設工事費デフレーターを用いて平成 17 年度（2005 年度）を令和 4 年度（2022 年度）に換算し、下記のとおり設定します。

図表 6-1-3-2 建物部位及び設備の更新単価

区分	更新単価	
	更新	改修
屋根	7,302 円/㎡	649 円/㎡
外部	8,572 円/㎡	-
受変電	2,106 円/㎡	202 円/㎡
通信・情報	-	235 円/㎡
空調	1,037 円/㎡	-
給排水衛生	3,431 円/㎡	222 円/㎡
消火	715 円/㎡	50 円/㎡
昇降機	3,668 円/㎡	-

2 保全計画工程及び更新等費用の試算結果

建物単位の各対策費用（第6章1参照）合計と、今後5年以内に予定される主な改修等の内容は、以下のとおりです。

図表 6-2-1 建物別の更新等費用の試算結果

施設名称	建物名称	令和6年度 ～令和10 年度（千 円）	令和11年 度～令和 33年度 （千円）	今後5年以 内に予定さ れる 主な工事等	その他に考 慮した事項
岡田コミュニティーセンター	岡田コミュニティーセンター	-	21,681	-	
野増地域防災コミュニティーセンター	野増地域防災コミュニティーセンター	-	15,997	-	
間伏地域防災コミュニティーセンター	間伏地域防災コミュニティーセンター	-	6,078	-	
伊豆大島火山博物館	伊豆大島火山博物館	548,837	1,007,588	外壁、屋根 及び各設備 改修工事	
大島温泉元町浜の湯	大島温泉元町浜の湯	-	21,526	-	
	大島温泉元町浜の湯 受付小屋	-	265	-	
小清水ポンプ小屋	小清水ポンプ小屋	-	111	-	
愛らんどセンター御神火温泉	愛らんどセンター御神火温泉	814,547	802,264	外壁改修、 屋根改修、 ヒートポン プ改修工事 等	

施設名称	建物名称	令和 6 年度 ～令和 10 年度（千 円）	令和 11 年 度～令和 33 年度 （千円）	今後 5 年以 内に予定さ れる 主な工事等	その他に考 慮した事項
大津ポンプ 小屋	大津ポンプ 小屋	-	111	-	
秋の浜	秋の浜公衆 便所	-	17,383	-	
	秋の浜ポン プ小屋	-	-	-	
弘法浜	弘法浜公衆 便所	-	634	-	
	弘法浜更衣 室	-	569	-	
	弘法浜売店 1	2,041	15,787	-	
	弘法浜売店 2	2,041	15,787	-	
万立 四阿	万立 四阿	-	-	-	
王の浜	王の浜公衆 便所	-	387	-	
砂の浜	砂の浜公衆 便所	-	704	-	
旧港屋旅館	旧港屋旅館	8,194	9,594	-	歴史的建造 物 更新費用含 まない
	旧港屋旅館 便所	190	214	-	
旧甚の丸邸	旧甚の丸邸	5,461	6,616	-	歴史的建造 物 更新費用含 まない
	旧甚の丸邸 倉庫	397	446	-	歴史的建造 物

施設名称	建物名称	令和 6 年度 ～令和 10 年度（千 円）	令和 11 年 度～令和 33 年度 （千円）	今後 5 年以 内に予定さ れる 主な工事等	その他に考 慮した事項
					更新費用含 まない
	旧甚の丸邸 便所	-	6,259	-	
レストセン ター	レストセン ター	1,286	4,408	-	
大島観光案 内センター	大島観光案 内センター	4,730	6,969	-	
三原山観光 展示棟	三原山観光 展示棟 管 理棟	-	2,041	-	
鉄砲場	鉄砲場公衆 トイレ	-	257	-	
差木地プー ル	更衣室・ポ ンプ室	-	1,191	-	
弘法浜サン セットプー ル	管理棟・更 衣室等	-	3,844	-	
新開牧場	新開牧場牛 舎・搾乳棟	-	35,107	-	
	新開牧場育 成舎	-	5,185	-	
	新開牧場管 理舎	617	20,924	-	
	新開牧場飼 料用倉庫	-	1,376	-	
	牧場堆肥舎	-	8,788	-	
農産物直売 所ぶらっと ハウス	農産物直売 所ぶらっと ハウス	-	6,328	-	

施設名称	建物名称	令和 6 年度 ～令和 10 年度（千 円）	令和 11 年 度～令和 33 年度 （千円）	今後 5 年以 内に予定さ れる 主な工事等	その他に考 慮した事項
差木地花卉 集荷所 1	差木地花卉 集荷所 1	651	22,053	-	
差木地花卉 集荷所 2	差木地花卉 集荷所 2	-	1,108	-	
北の山事務 所	北の山事務 所	1,039	87,302	-	
牛乳工場	牛乳工場	89,678	9,288	バターチャ ーン及び廃 用乳凝集設 備導入工 事、倉庫シ ャッター交 換工事、雨 水貯水槽水 道蛇口設置 工事、ボイ ラー2 基・ ホモゲナイ ザー及び浄 化槽の増設 工事、 アイスパス チャライザ 及びプレハ ブ冷凍庫導 入工事	
大滝農業用 水	波浮港旧井 戸建屋	-	66	-	
	波浮港配水 槽建屋	-	103	-	
	クダッチ取 水場建屋	-	92	-	

施設名称	建物名称	令和 6 年度 ～令和 10 年度（千 円）	令和 11 年 度～令和 33 年度 （千円）	今後 5 年以 内に予定さ れる 主な工事等	その他に考 慮した事項
滝川農業用 水	サンドフィ ルター建屋	-	354	-	
沢立農業用 水	サンドフィ ルター建屋	-	573	-	
差木地倉庫	差木地倉庫	-	95,627	-	
北の山店舗 及び倉庫	北の山店舗 及び倉庫	-	107,698	-	
水産物展示 販売施設 （海市場）	地域産物展 示販売施設 （海市場）	-	11,595	-	
大島町立学 校給食セン ター	大島町立学 校給食セン ター	60,705	38,779	ボイラー更新、 ホース軟水装 置更新、炊飯 システム更新、屋 外換気扇交 換、食器洗浄 機更新	
黒潮作業所	住宅 1	-	3,375	-	
	住宅 2	-	1,779	-	
大島町勤労 福祉会館	大島町勤労 福祉会館 A 棟	83,500	226,170	屋根及び外 壁改修工事	
	大島町勤労 福祉会館 B 棟	34,474	595,402	照明器具改 修工事、自 家用発電機 取替工事	
	大島町勤労 福祉会館 C 棟	246	7,557	-	

施設名称	建物名称	令和 6 年度 ～令和 10 年度（千 円）	令和 11 年 度～令和 33 年度 （千円）	今後 5 年以 内に予定さ れる 主な工事等	その他に考 慮した事項
	大島町勤労 福祉会館 自家発電小 屋	316	9,723	-	
クダッチ老 人福祉館	クダッチ老 人福祉館	4,311	197,013	-	
波浮港老人 福祉館	波浮港老人 福祉館	5,876	206,382	-	
大島医療セ ンター	大島医療セ ンター	188,481	119,660	火災報知設 備・空調設 備及び無停 電装置更新 工事	
大島けんこ うセンター	大島けんこ うセンター	-	51,071	-	
南部診療所	南部診療所	2,588	378,000	-	
南部診療所	南部診療所 車庫	-	1,768	-	
みんなの福 祉センター	差木地保育 園園舎	-	15,393	-	
	差木地保育 園園舎増築 1	-	11,830	-	
	差木地保育 園園舎増築 2	-	2,371	-	
元町保育園	元町保育園 園舎	-	33,899	-	
岡田保育園	岡田保育園 園舎	-	14,373	-	

施設名称	建物名称	令和 6 年度 ～令和 10 年度（千 円）	令和 11 年 度～令和 33 年度 （千円）	今後 5 年以 内に予定さ れる 主な工事等	その他に考 慮した事項
	岡田保育園 保育室等増 築	-	7,069	-	
消防本部庁 舎	消防本部庁 舎	7,273	24,135	-	
大島町消防 団本部	大島町消防 団本部	-	7,941	-	
泉津分団	分団詰所 （泉津分 団）	-	4,613	-	
岡田分団	分団詰所 （岡田分 団）	73,742	1,641	建替工事	
北の山分団	分団詰所 （北の山分 団）	-	3,005	-	
元町分団	分団詰所 （元町分 団）	-	7,658	-	
野増分団	分団詰所 （野増分 団）	1,129	3,632	-	
野増分団 3 部	分団詰所 （野増分団 3 部）	-	2,169	-	
差木地分団	分団詰所 （差木地分 団）	10,742	64,566	建替工事	
クダッチ分 団	分団詰所 （クダッチ 分団）	-	2,960	-	

施設名称	建物名称	令和 6 年度 ～令和 10 年度（千 円）	令和 11 年 度～令和 33 年度 （千円）	今後 5 年以 内に予定さ れる 主な工事等	その他に考 慮した事項
波浮港分団	分団詰所 （波浮港分 団）	-	4,117	-	
岡田分団	器具置場 （岡田分 団）	618	17,343	-	
北の山分団	器具置場 （北の山分 団）	-	22,795	-	
差木地分団	器具置場 （差木地分 団）	-	21,311	-	
差木地分団	器具置場 （差木地分 団）	20,876	695	-	
旧分団詰所 （波浮港分 団）	旧分団詰所 （波浮港分 団）	-	-	-	
泉津地区防 災炊事舎	泉津地区防 災炊事舎	-	167	-	
備蓄庫	岡田備蓄庫	-	81,775	-	
	泉津備蓄庫	1,286	81,775	-	
	差木地備蓄 庫	-	81,775	-	
大島町役 場・開発総 合センター	大島町役 場・開発総 合センター	2,102,908	3,145,601	電気・空 調・給排水 及びエレベ ーター等改修 工事	

施設名称	建物名称	令和 6 年度 ～令和 10 年度（千 円）	令和 11 年 度～令和 33 年度 （千円）	今後 5 年以 内に予定さ れる 主な工事等	その他に考 慮した事項
公共駐車 場・多目的 広場	駐車場	-	5,213	-	
大島町資源 ストックヤ ード	大島町資源 ストックヤ ード	-	2,619	-	
差木地みん なの広場	差木地みん なの広場公 衆便所	-	383	-	
吉谷公園	吉谷公園公 衆便所	-	1,437	-	
大島町メモ リアル公園	管理棟	-	3,555	-	
	ステージ	-	1,355	-	
	公衆便所	-	639	-	
椿公園	椿公園 体 験棟	-	6,884	-	
	椿公園 便 所棟	-	1,233	-	
岡田福聚寺 横公衆便所	岡田福聚寺 横公衆便所	-	923	-	
元町墓地横 公衆便所	元町墓地横 公衆便所	-	357	-	
北の山公衆 便所	北の山公衆 便所	-	960	-	
北の山墓地 公衆便所	北の山墓地 公衆便所	-	257	-	
万立浜公衆 便所	万立浜公衆 便所	-	6,397	-	
波浮港西岸 公衆便所	波浮港西岸 公衆便所	-	5,007	-	

施設名称	建物名称	令和 6 年度 ～令和 10 年度（千 円）	令和 11 年 度～令和 33 年度 （千円）	今後 5 年以 内に予定さ れる 主な工事等	その他に考 慮した事項
差木地フナ ワ公衆便所	差木地フナ ワ公衆便所	-	1,071	-	
波浮港中央 公衆便所	波浮港中央 公衆便所	-	702	-	
波浮港墓地 公衆便所	波浮港墓地 公衆便所	-	332	-	
波浮港見晴 台公衆便所	波浮港見晴 台公衆便所	-	10,966	-	
差木地墓地 公衆便所	差木地墓地 公衆便所	-	214	-	
医師住宅	医師住宅	-	8,302	-	
火葬場	火葬場	35,000	8,793	屋根等改修 工事	
	火葬場家族 控室	-	2,258	-	
	火葬場待合 室	-	6,374	-	
旧込内文化 会館	旧込内文化 会館	2,239	57,266	-	
旧子供家庭 支援センタ ー	旧子供家庭 支援センタ ー	2,497	102,683	-	
退避壕(温泉 ホテル)	退避壕(温泉 ホテル)	-	29,710	-	
退避壕(筆 島)	退避壕(筆 島)	-	3,402	-	
退避壕(都道 裏砂漠入口)	退避壕(都道 裏砂漠入口)	-	7,428	-	
退避壕(三原 山遊歩道)	退避壕(三原 山遊歩道)	-	4,952	-	

施設名称	建物名称	令和 6 年度 ～令和 10 年度（千 円）	令和 11 年 度～令和 33 年度 （千円）	今後 5 年以 内に予定さ れる 主な工事等	その他に考 慮した事項
	退避壕(三原 山遊歩道)	-	4,952	-	
	退避壕(三原 山遊歩道)	-	4,952	-	
	退避壕(三原 山遊歩道)	-	4,952	-	
	退避壕(三原 山遊歩道)	-	4,952	-	
	退避壕(三原 山遊歩道)	-	4,952	-	
退避壕(差木 地地区)	退避壕(差木 地地区)	-	567	-	
	退避壕(差木 地地区)	-	567	-	
	退避壕(差木 地地区)	-	567	-	
退避壕 (1986 年割 れ目噴火口)	退避壕 (1986 年割 れ目噴火口)	-	567	-	
退避壕(陸上 競技場)	退避壕(陸上 競技場)	-	567	-	
旧泉津診療 所	旧泉津診療 所	-	60,255	-	
旧差木地村 役場	旧差木地村 役場	2,181	2,588	-	歴史的建造 物 更新費用含 まない
元町中央監 視室	元町遠方監 視所	-	2,452	-	

施設名称	建物名称	令和 6 年度 ～令和 10 年度（千 円）	令和 11 年 度～令和 33 年度 （千円）	今後 5 年以 内に予定さ れる 主な工事等	その他に考 慮した事項
岡田 9 号井	岡田 9 号井 ポンプ室	111	131	-	
岡田 7 号井	岡田第 7 さ く井ポンプ 室	-	258	-	
岡田 7 号井 自家発電室	岡田第 7 自 家発電電気室	-	1,134	-	
岡田 10 号 井	岡田 10 号 井ポンプ室	-	116	-	
岡田 8 号井	岡田第 8 さ く井ポンプ 室	-	258	-	
岡田 6 号井	岡田第 6 さ く井ポンプ 室	-	175	-	
北の山 1 号 井	北の山 1 号 井ポンプ室	-	-	-	
北の山 2 号 井	仲中さく井 ポンプ室	-	1,571	-	
筆島水源	筆島水源発 電室	587	2,757	-	
大滝第 2 水 源	大滝第 2 さ く井ポンプ 室	-	172	-	
岡田集合井	岡田集合井 電気計装室	-	401	-	
北の山浄水 場	北の山浄水 場	-	268,404	-	
南部浄水場	南部浄水場	-	10,604	-	
泉津浄水場	泉津配水池 自家発電機 室	-	311	-	

施設名称	建物名称	令和 6 年度 ～令和 10 年度（千 円）	令和 11 年 度～令和 33 年度 （千円）	今後 5 年以 内に予定さ れる 主な工事等	その他に考 慮した事項
高々区増圧 ポンプ場	高々区増圧 ポンプ室	-	454	-	
間伏増圧ポ ンプ場	間伏増圧ポ ンプ室	-	7,442	-	
間伏増圧ポ ンプ場	間伏電気計 装室	-	2,977	-	
野増調整池	野増調整池	79	2,400	-	
仲中電気室	仲中電気計 装室	-	3,533	-	
家の上第 1 配水池	元町浄水場	566	82,452	-	
家の上第 3 配水池	元町浄水場	1,139	29,026	-	
波浮港配水 池	電気計装室	4,767	194	-	

第7章 今後の対応方針と本計画の実現に向けて

1 計画の進捗管理と庁内連携について

本計画において個別施設ごとに具体的に示された対策の取組予定と、各年度における対策の実際の進捗状況を比較・確認し、更新していくことによって、計画の適切な進捗管理を図ります。

なお、本計画に記載している対策については、各施設の所管課が主体となって実施します。統廃合や複合化等の施設の再編に関する取組については、各施設の所管課や関連部門と連携しながら推進します。

2 個別施設計画の改訂について

原則は5年おきに進捗管理結果の取りまとめを行い、進捗状況を確認し、公共施設等総合管理計画や第7次大島町基本構想・前期基本計画の検証や見直しとの整合性を図るため、個別施設ごとの対策の進捗状況を踏まえつつ、本計画についても取組予定を再検討する等の見直しを適宜（必要があれば毎年度でも）行います。

3 計画の実現に向けた他計画との整合性について

本計画の実現に向けては最上位計画である第7次大島町基本構想・前期基本計画と連動し、整合性を図りつつ、総合的かつ計画的に取り組むこととします。

また、総合管理計画改訂時には、本計画及び他の個別施設計画とも調整の上、町全体の公共施設のあり方等を踏まえて、財政負担の軽減化・標準化に努めつつ、公共施設全体の最適配置の実現に向けて取り組みます。

大島町個別施設計画

令和6（2024）年3月

大島町 総務課

〒100-0101 東京都大島町元町1丁目1番14号

電 話 04992（2）1443

FAX 04992（2）1371